

一等水準点検測成果集録

第 65 卷

2020年度観測
(令和2年度観測)

令和5年3月

国土交通省国土地理院

記

本集録は、令和2年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

令和5年3月

国土交通省国土地理院

一等水準点検測成果集録

第 6 5 卷

2020年度観測
(令和2年度観測)

目 次

1. 観測器械及び観測法

(1) 観測器械

(2) 観測法

2. 観測区域及び期間

3. 水準点変動図の説明

付図 一等水準路線図

一等水準点変動図

1. 観測器械および観測法

令和2年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

(1) 観測器械

A レベル

レベル名称	望遠鏡 倍率	水準器感度等
Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
ツアイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"

B 水準標尺

水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
		材質	目盛法
Wild 製 精密水準標尺	3m	インバール (巾 2.6cm,長さ 3m)	インバール帯の中央線の両側に 5mm の差をもって 10mm ごとに目盛る。
ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースパインバール (巾 2.5cm,長さ 3m)	〃
カール・ツァイス製 インバール (バーコード) 標尺	3m	インバール (巾 2.2cm,長さ 3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニュースパインバール (巾 2.2cm,長さ 3m)	〃
トリンブル ナビゲーション製 精密バーコード水準標尺	2m	インバール (巾 2.2cm,長さ 2m)	〃

(2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、レベルは、両標尺間の中央に整置し、後視—前視、更に前視—後視の順序に観測を行う。

整準ねじによって、まず円形水準器の気泡を中央に導き、第 1 回視準（後視—前視）は左側目盛分画線、第 2 回視準（前視—後視）は右側目盛分画線を視準する。

Wild 製 N3 型精密レベルの場合は微傾動ねじによって主水準器気泡の映像を合致させ、測微装置によって、くさび型十字糸で分画線を正しく挟んで 10 分の 1mm まで読みとる。

Carl Zeiss Jena 製 NI002A 型は、第 1 回視準はコンペンセーターが I の位置、第 2 回視準はコンペンセーターが II の位置において、測微装置によってくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで 10 分の 1mm まで読みとる。

ツァイス製 DiNi12 型及び Trimble 製 DiNi0.3 型電子レベルの場合は、中央視準線がバーコード目盛の中心線と一致するように望遠鏡の向きを微調整した状態で読定ボタンを押す。

レベルと標尺の距離は、平地で通常 40m 以内とし、各水準点間 2km（地点標に併設された水準点間は 1km）の往復観測を行い、その往復差は、 $2.5\sqrt{S}$ mm（S は片道の観測距離で km 単位）以内である。

なお、標尺の検定は、定期的にレーザー干渉計または基準尺により比較測定して行き、観測値に所要の補正をする。

付表

平成31-令和元年度以前において使用した観測器械及び観測法

(1) 観測器械

A レベル

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
大正13年(1924)以前	CarlBamberg製 一等レベル (Y型)	36倍	4"~5"/2mm
昭和27年(1952)	CarlZeiss製 III型 精密レベル	36倍	4"~12"/2mm (合致式)
昭和30年(1955)	CarlZeiss製 III型 精密レベル	36倍	4"~12"/2mm (合致式)
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
昭和42年(1967)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
昭和44年(1969)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Zeiss製 NI2型 精密自動レベル	32倍	円形水準器 8'
昭和53年(1978)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
平成5年(1993)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
平成7年(1995)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
平成8年(1996)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ペンタックス製 L-10型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成9年(1997)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度0.05mm
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成11年(1999)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア製 PL1型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	トプコン製 TS-E1型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
平成12年(2000)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成16年(2004)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成18年(2006)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カールツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア製 PL1型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成19年(2007)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製Wild NA3003A型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成21年(2009)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製Wild NA3003A型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成23年(2011)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成24年(2012)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製 DNA03型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
平成26年(2014)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
平成27年(2015)	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
平成28年(2016)	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツァイス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製 DNA03型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Leica製Wild NA3003型 電子レベル	24倍	自動補正装置の公称精度 0.4"
	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)

観測年度	レベル名称	望遠鏡倍率	水準器感度
平成29年(2017)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成30年(2018)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
平成31・令和元年(2019)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ツアス製 DiNi12型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"
令和2年(2020)	Wild製 N3型 精密レベル	42倍	10"/2mm (合致式)
	CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル	40倍	公称視準精度 0.05mm
	ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.3"
	Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル	32倍	自動補正装置の公称精度 0.2"

B 水準標尺

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
大正13年(1924)以前	CarlBamber製 水準標尺	3m	露国産自然乾燥赤楊	木部の表面に直接5mmごとに目盛る。
昭和27年(1952)	CarlZeiss製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に2.5mmの差をもって5mmごとに目盛る。
昭和30年(1955)	CarlZeiss製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
昭和42年(1967)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
昭和44年(1969)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Zeiss製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
昭和53年(1978)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
平成元年(1989)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	CarlZeissJena製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
平成3年(1991)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	CarlZeissJena製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
平成7年(1995)	Wild製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	CarlZeissJena製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパ°インバール (巾2.5cm,長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(パ°コート°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm,長さ3m)	インバール帯にパ°コート°を目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成8年(1996)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	CarlZeissJena製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成11年(1999)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成12年(2000)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成13年(2001)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成16年(2004)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Zeiss製 精密水準標尺	3m	ニューズパーインバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
平成21年(2009)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
平成23年(2011)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
	ソキア・トプコン製 精密バーコート水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
平成24年(2012)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。
	ソキア・トプコン製 精密バーコート水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコートを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成25年(2013)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	ソキア・トプコン製 精密バーコード水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成26年(2014)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	ソキア・トプコン製 精密バーコード水準標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成27年(2015)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
平成28年(2016)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	Leica製 Wildインバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズパインバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコードを目盛る。

観測年度	水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
			材質	目盛法
平成29年(2017)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
平成30年(2018)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
平成31・ 令和元年(2019)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
令和2年(2020)	Wild製 精密水準標尺	3m	インバール (巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	ソキア製 精密水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.5cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
	カール・ツァイス製 インバール(バーコード°)標尺	3m	インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
	タマヤ製 精密バーコード水準標尺	3m	ニューズーパ°インバール (巾2.2cm, 長さ3m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。
	トリングル ナビゲーション製 精密バーコード水準標尺	2m	インバール (巾2.2cm, 長さ2m)	インバール帯にバーコード°を目盛る。

(2) 観測法

<p>観測器械 区分</p>	<p>Carl Bamberg</p>	<p>Carl Zeiss</p>	<p>Wild N3</p>	<p>Wild N3 Zeiss NI2 Carl Zeiss Jena NI002,NI002A ペンタックス L-10 Leica NA3003,NA3003A DNA03 カール・ツァイス DiNi11 ツァイス DiNi12 ソキア PL1 トプコン TS-E1 Trimble DiNi0.3 ソキア・トプコン SDL1X</p>
<p>視準順序</p>	<p>上方分画— 下方分画</p>	<p>後視—前視 —前視—後 視</p>	<p>後視—前視 —前視—後 視</p>	<p>後視—前視—前視—後視</p>
<p>設定単位</p>	<p>0.01mm</p>	<p>0.01mm</p>	<p>昭和35年 以前は 0.1mm</p>	<p>0.1mm</p>
<p>標尺距離 (平坦地)</p>	<p>最大 40m</p>	<p>最大 40m</p>	<p>昭和45年 以前は 60m</p>	<p>最大 50m (電子レベルで最大 40m)</p>
<p>往復差の許容範囲 S は片道の観測 距離で km 単位</p>	<p>$1.5\sqrt{2S}$ mm</p>	<p>$1.5\sqrt{2S}$ mm</p>	<p>昭和35年 以前は $1.5\sqrt{2S}$ mm 昭和36年 から昭和 39年まで は $2.0\sqrt{2S}$ mm</p>	<p>$2.5\sqrt{S}$ mm</p>
<p>環閉合の許容範囲</p>	<p>$1.5\sqrt{S}$ mm</p>	<p>$1.5\sqrt{S}$ mm</p>	<p>$2.0\sqrt{S}$ mm</p>	<p>$2.0\sqrt{S}$ mm</p>

2. 観測区域及び期間

観測区域及び期間

変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
20-01-01	自 交33 至 7870	北海道帯広市 北海道富良野市	交33	128	自 2020年 6月 至 2020年 7月
20-01-02	自 交33 至 準基222	北海道帯広市 北海道釧路市	交33	79	自 2020年 6月 至 2020年 7月
20-01-03	自 940011A 至 交8170	北海道中川郡池田町 北海道中川郡幕別町	8180	21	自 2020年 6月 至 2020年 6月
20-01-04	自 準基227 至 8040	北海道広尾郡広尾町 北海道中川郡豊頃町	交34	83	自 2020年 9月 至 2020年 10月
20-02-01	自 4418 至 4426	新潟県新潟市北区 新潟県新潟市西区	4426	20	自 2020年 9月 至 2020年 9月
20-02-02	自 II 2163 至 II 2027	新潟県新潟市秋葉区 新潟県阿賀野市	II 2163	12	自 2020年 8月 至 2020年 9月
20-03-01	自 2028 至 2028	茨城県古河市 茨城県古河市	2028	47	自 2020年 9月 至 2020年 10月
20-03-02	自 2025 至 2028	埼玉県加須市 茨城県古河市	2028	21	自 2020年 9月 至 2020年 10月
20-03-03	自 交483 至 交4	埼玉県さいたま市北区 東京都千代田区	交483	35	自 2020年 10月 至 2020年 10月
20-03-04	自 交4 至 基25	東京都千代田区 神奈川県横浜市保土ヶ谷区	交4	47	自 2020年 9月 至 2020年 10月
20-03-05	自 基25 至 交35-7	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 神奈川県横浜市戸塚区	交35-7	13	自 2020年 10月 至 2020年 10月
20-03-06	自 基25 至 油壺験潮場固定点	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 神奈川県三浦市	基25	52	自 2020年 10月 至 2020年 11月
20-03-07	自 基26 至 960759A	神奈川県三浦市 神奈川県三浦市	基26	0.2	自 2020年 11月 至 2020年 11月
20-04-01	自 交35-7 至 交52	神奈川県横浜市戸塚区 静岡県熱海市	交35-7	82	自 2020年 10月 至 2020年 11月
20-04-02	自 交52 至 93043A	静岡県熱海市 静岡県駿東郡清水町	交52	34	自 2020年 11月 至 2020年 12月
20-04-03	自 93043A 至 焼津験潮場固定点	静岡県駿東郡清水町 静岡県焼津市	交70-1	105	自 2020年 8月 至 2020年 11月

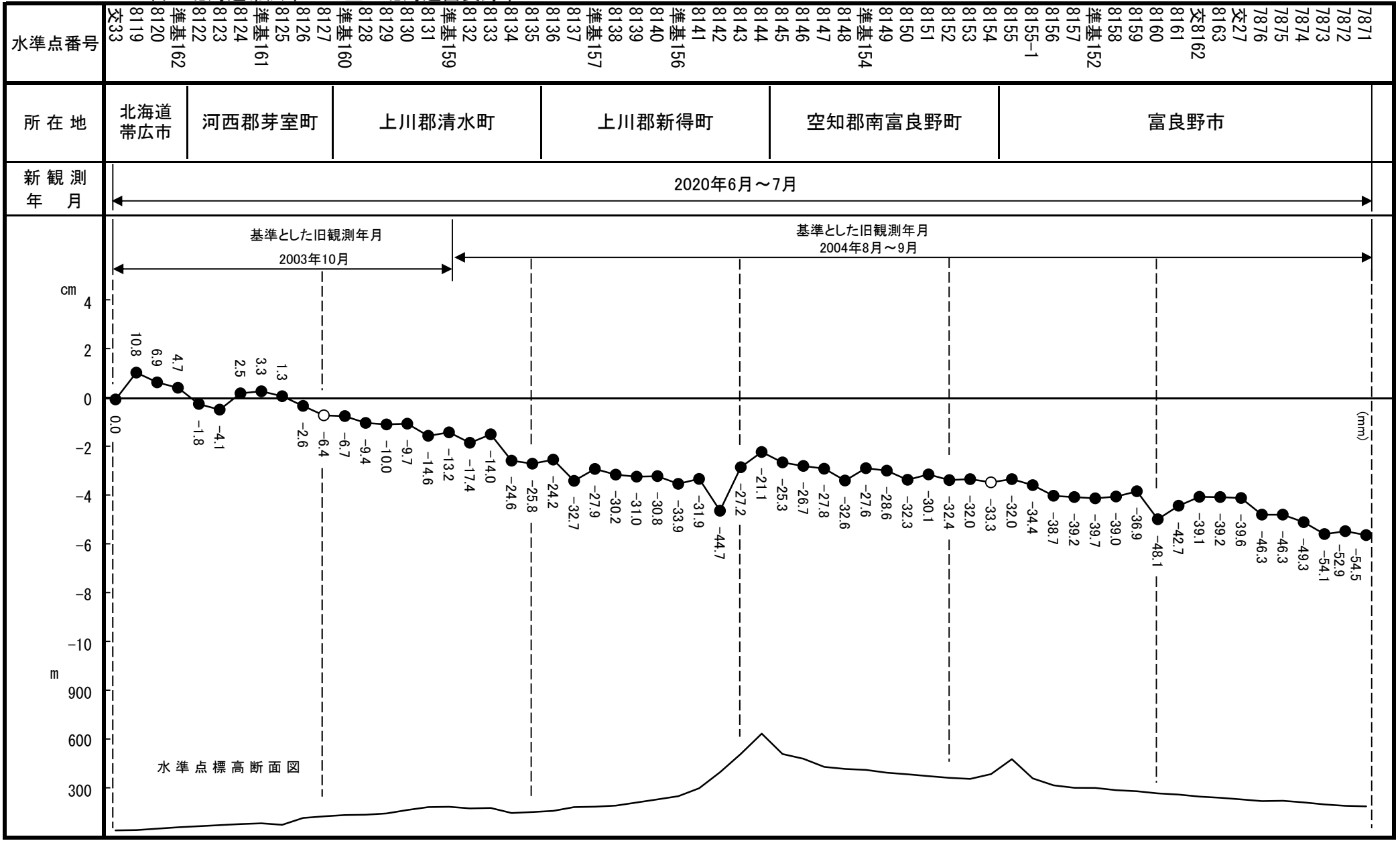
変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
20-04-04	自 II 2569 至 準基1354	静岡県焼津市 静岡県牧之原市	II 2569	41	自 2020年 10月 至 2020年 11月
20-04-05	自 交148 至 II 2597	静岡県浜松市中区 静岡県御前崎市	交148	48	自 2020年 9月 至 2020年 9月
20-04-06	自 交148 至 舞阪検潮所球分体	静岡県浜松市中区 静岡県浜松市西区	交148	24	自 2020年 9月 至 2020年 10月
20-04-07	自 970819A 至 御前崎検潮所標石	静岡県周智郡森町 静岡県御前崎市	5268	64	自 2020年 6月 至 2020年 6月
20-04-08	自 II 2595 至 御前崎検潮所固定点	静岡県御前崎市 静岡県御前崎市	II 2595	12	自 2020年 6月 至 2020年 7月
20-04-09	自 970819A 至 御前崎観測場付属水準点	静岡県周智郡森町 静岡県御前崎市	5268	64	自 2020年 10月 至 2020年 11月
20-04-10	自 II 2595 至 御前崎検潮所標石	静岡県御前崎市 静岡県御前崎市	II 2595	12	自 2020年 11月 至 2020年 11月
20-05-01	自 191 至 III 4676	岐阜県大垣市 岐阜県養老郡養老町	191	11	自 2020年 12月 至 2020年 12月
20-05-02	自 191 至 950291A	岐阜県大垣市 岐阜県不破郡垂井町	191	1	自 2020年 12月 至 2020年 12月
20-05-03	自 176 至 1471	愛知県名古屋市中区 愛知県弥富市	176	89	自 2020年 12月 至 2021年 1月
20-05-04	自 交174-1 至 950309A	愛知県名古屋市中区 三重県四日市市	交174-1	63	自 2020年 12月 至 2021年 1月
20-05-05	自 鬼崎験潮場固定点 至 11065	愛知県常滑市 愛知県知多市	附18	7	自 2021年 1月 至 2021年 1月
20-05-06	自 附18 至 960632A	愛知県常滑市 愛知県常滑市	附18	1	自 2021年 1月 至 2021年 1月
20-05-07	自 II 3357 至 III 4674	岐阜県羽島市 岐阜県大垣市	III 4674	16	自 2020年 12月 至 2020年 12月
20-06-01	自 031106A 至 交4810	三重県度会郡大紀町 和歌山県新宮市	交4810	112	自 2020年 5月 至 2020年 10月
20-06-02	自 970825A 至 交4810	奈良県吉野郡十津川村 和歌山県新宮市	交4810	65	自 2020年 9月 至 2020年 10月

変動図 番号	観測区間		不動とした 水準点番号	距離 (km)	観測期間
	水準点番号	所在地			
20-06-03	自 交4810 至 121193A	和歌山県新宮市 和歌山県田辺市	交4810	133	自 2020年 9月 至 2020年 11月
20-06-04	自 白浜検潮所固定点 至 9186	和歌山県西牟婁郡白浜町 和歌山県田辺市	9186	6	自 2020年 9月 至 2020年 9月
20-06-05	自 浦神検潮所固定点 至 4980	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	4980	0.4	自 2020年 10月 至 2020年 10月
20-06-06	自 串本検潮所固定点 至 附3	和歌山県東牟婁郡串本町 和歌山県東牟婁郡串本町	附3	0.03	自 2020年 10月 至 2020年 10月
20-07-01	自 4549 至 4561	愛媛県伊予市 愛媛県大洲市	4549	25	自 2021年 2月 至 2021年 2月
20-07-02	自 今治港検潮所球分体 至 3475	愛知県今治市 愛媛県松山市	交3440	30	自 2020年 12月 至 2021年 1月
20-07-03	自 3435 至 3441	愛知県今治市 愛知県今治市	交3440	12	自 2020年 12月 至 2021年 1月
20-07-04	自 031120A 至 950423A	高知県香南市 徳島県海部郡美波町	5174	167	自 2020年 9月 至 2020年 11月
20-07-05	自 5145 至 940082A	高知県室戸市 高知県室戸市	5145	5	自 2020年 11月 至 2020年 11月
20-07-06	自 5142 至 室戸検潮所固定点	高知県室戸市 高知県室戸市	5142	0.3	自 2020年 11月 至 2020年 11月
20-07-07	自 960681A 至 031125A	高知県宇和島市 高知県土佐清水市	交4619	158	自 2020年 9月 至 2020年 10月
20-07-08	自 御荘港検潮所球分体 至 4608	愛媛県南宇和郡愛南町 愛媛県南宇和郡愛南町	4608	1	自 2020年 9月 至 2020年 9月
20-07-09	自 土佐清水検潮所球分体 至 10933	高知県土佐清水市 高知県土佐清水市	10933	0.02	自 2020年 9月 至 2020年 9月
20-08-01	自 3352 至 基52	福岡県大川市 佐賀県杵島郡白石町	基52	42	自 2020年 11月 至 2020年 12月
20-08-02	自 3350 至 3332	佐賀県佐賀市 佐賀県杵島郡白石町	3350	46	自 2020年 12月 至 2021年 1月
20-08-03	自 3342 至 2000	佐賀県佐賀市 佐賀県小城市	3342	4	自 2021年 1月 至 2021年 1月

3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量は、仮不動点の標高を基準とし、水準点間の今回の観測比高から算出される新水準点標高と前回の観測比高から算出される旧水準点標高の差から求めている。
- (2) 水準点が再設や傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらが図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 前回観測から今回観測の間に移転改埋を行った点は白ぬきで表示した。
- (4) 昭和 39 年度から、建設省道路局長（当時）と国土地理院長の覚書により、道路管理者が 1km 毎に設けた距離標に併設した一等水準点（道路水準点）には、国道番号と連番号をハイフンで繋げた「001-181」のような番号を付けている。
- (5) 変動量が特に大きい場合は、図を見やすくするため変動量グラフの縦軸目盛りの間隔を通常の 1cm より変更している。

20-01-01 自 北海道帯広市 至 北海道富良野市

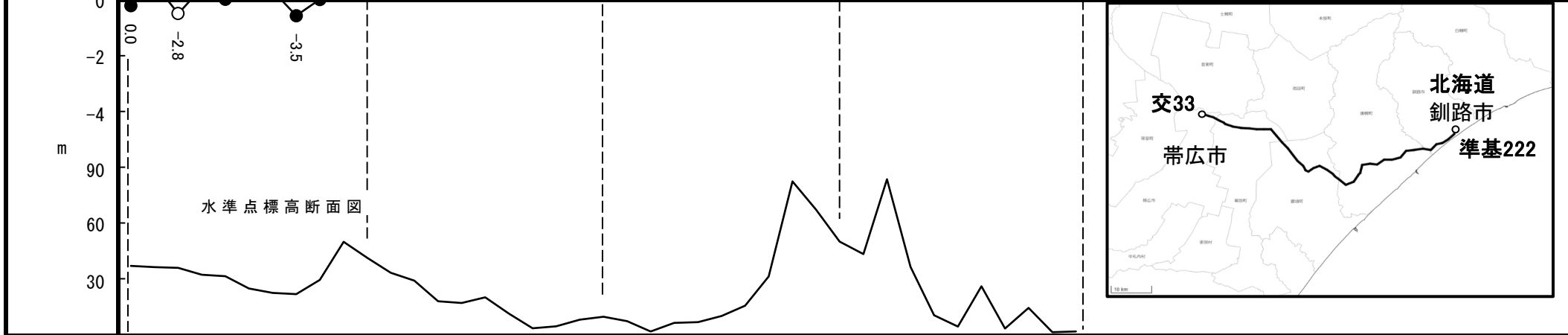
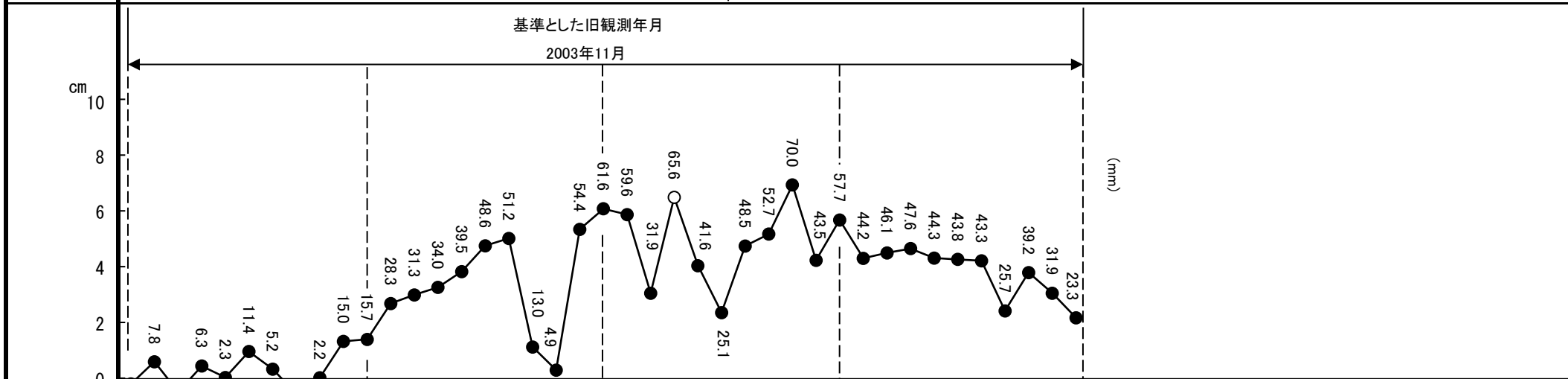


20-01-02

自 北海道帯広市 至 北海道釧路市

水準点番号	交33 8164 8165 準基150 8166 8167 8168 8169 交8170 8100-10 8100-9 準基228 8100-7 8100-6 8100-5 8100-4 準基227 8101-1 8101-2 8102-1 8103-1 準基226 8103-2 交8104-1 8104-2-1 8104-3 準基225 8104-3-1 8104-4 準基224 8104-4-1 8104-4 8104-5 8104-4-2 交8115 8116 8117 8118 7584 準基222	所在地	帯広市道 中川郡幕別町 中川郡豊頃町 十勝郡浦幌町 釧路市
-------	--	-----	---

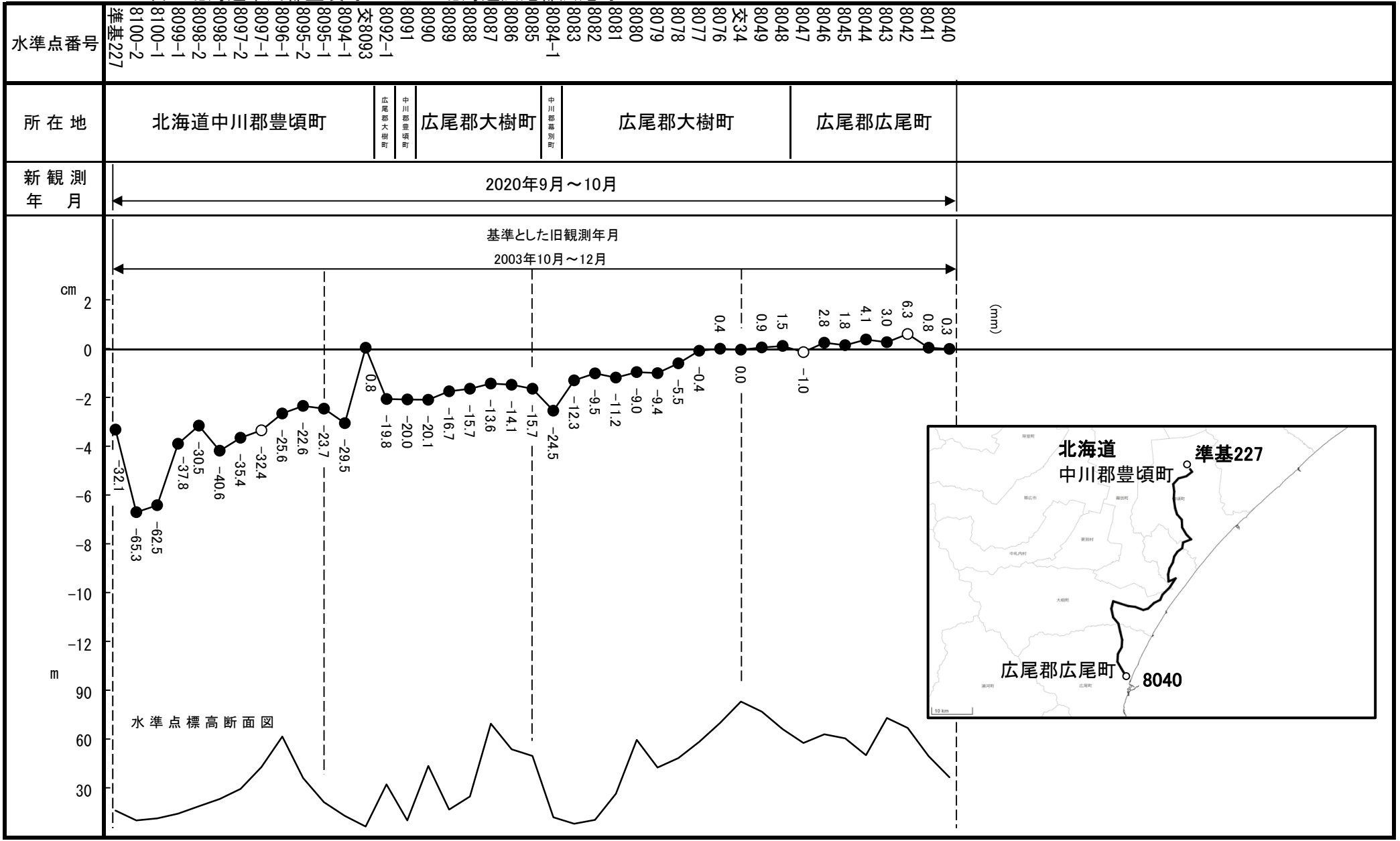
新観測年月	2020年6月~7月	2020年9月
-------	------------	---------



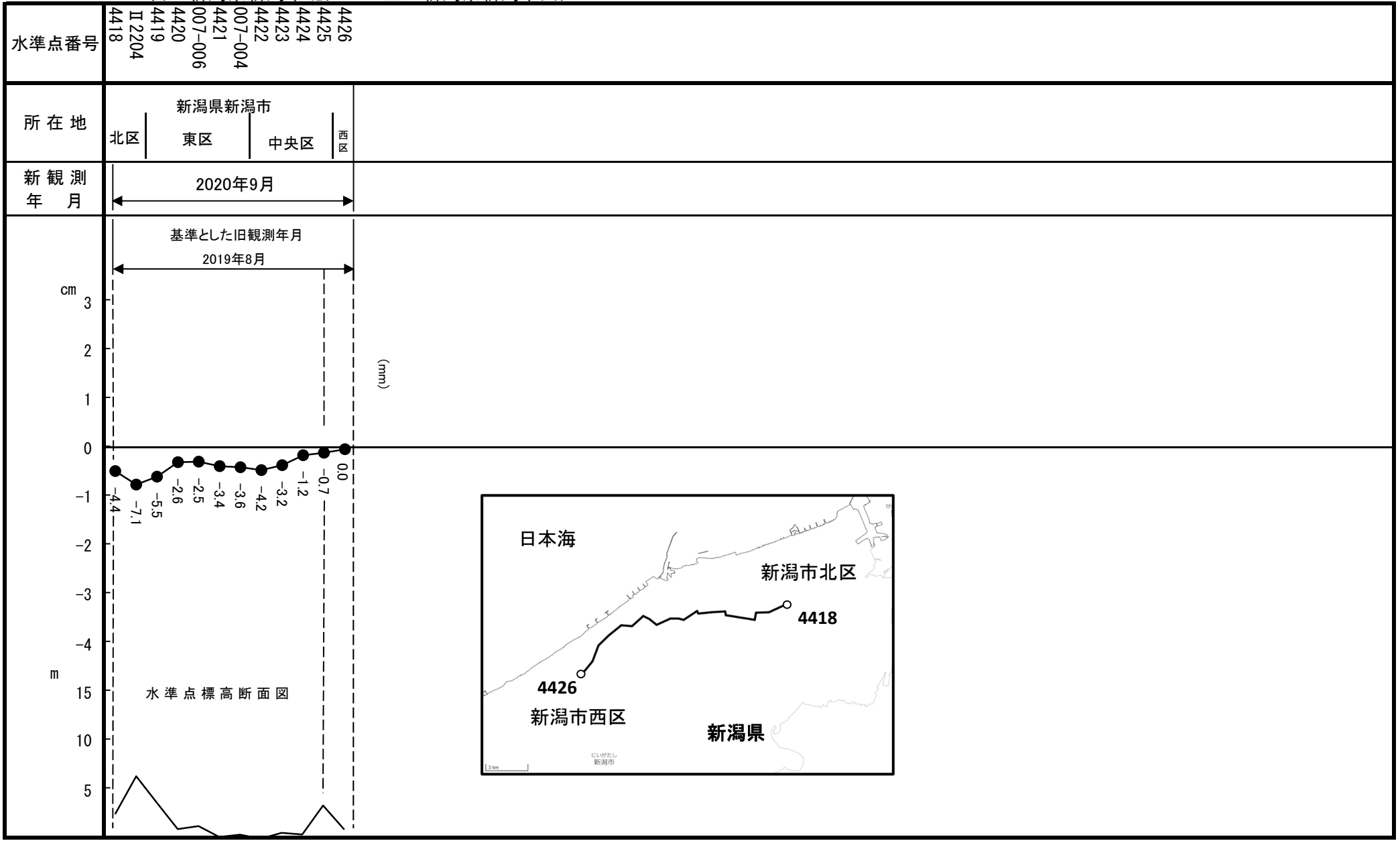
20-01-03 自 北海道中川郡池田町 至 北海道中川郡幕別町

水準点番号	交8170 基準149 8171 8172 8173 8174 8175 8176 8177 8178 8179 進基147 8180 940011A	
所在地	北海道中川郡池田町	中川郡幕別町
新観測年月	2020年6月	
	<p>2004年9月 基準とした旧観測年月</p> <p>2003年11月</p> <p>cm</p> <p>4</p> <p>2</p> <p>0</p> <p>-2</p> <p>-4</p> <p>-6</p> <p>-8</p> <p>-10</p> <p>60</p> <p>40</p> <p>20</p> <p>m</p> <p>水準点標高断面図</p> <p>(mm)</p> <p>26.0</p> <p>26.9</p> <p>22.0</p> <p>33.8</p> <p>33.9</p> <p>17.5</p> <p>1.2</p> <p>1.1</p> <p>5.8</p> <p>0.0</p> <p>-22.7</p> <p>-4.2</p> <p>-22.4</p> <p>北海道</p> <p>中川郡池田町</p> <p>940011A</p> <p>交8170</p> <p>中川郡幕別町</p> <p>1.5 km</p>	

20-01-04 自 北海道中川郡豊頃町 至 北海道広尾郡広尾町



20-02-01 自 新潟県新潟市北区 至 新潟県新潟市西区

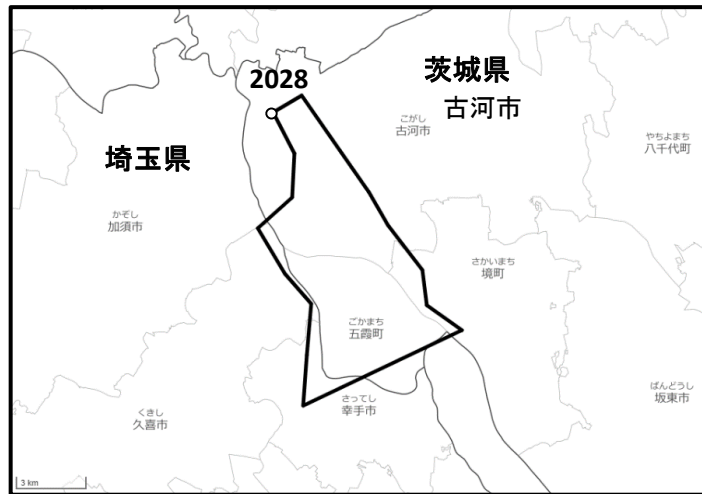
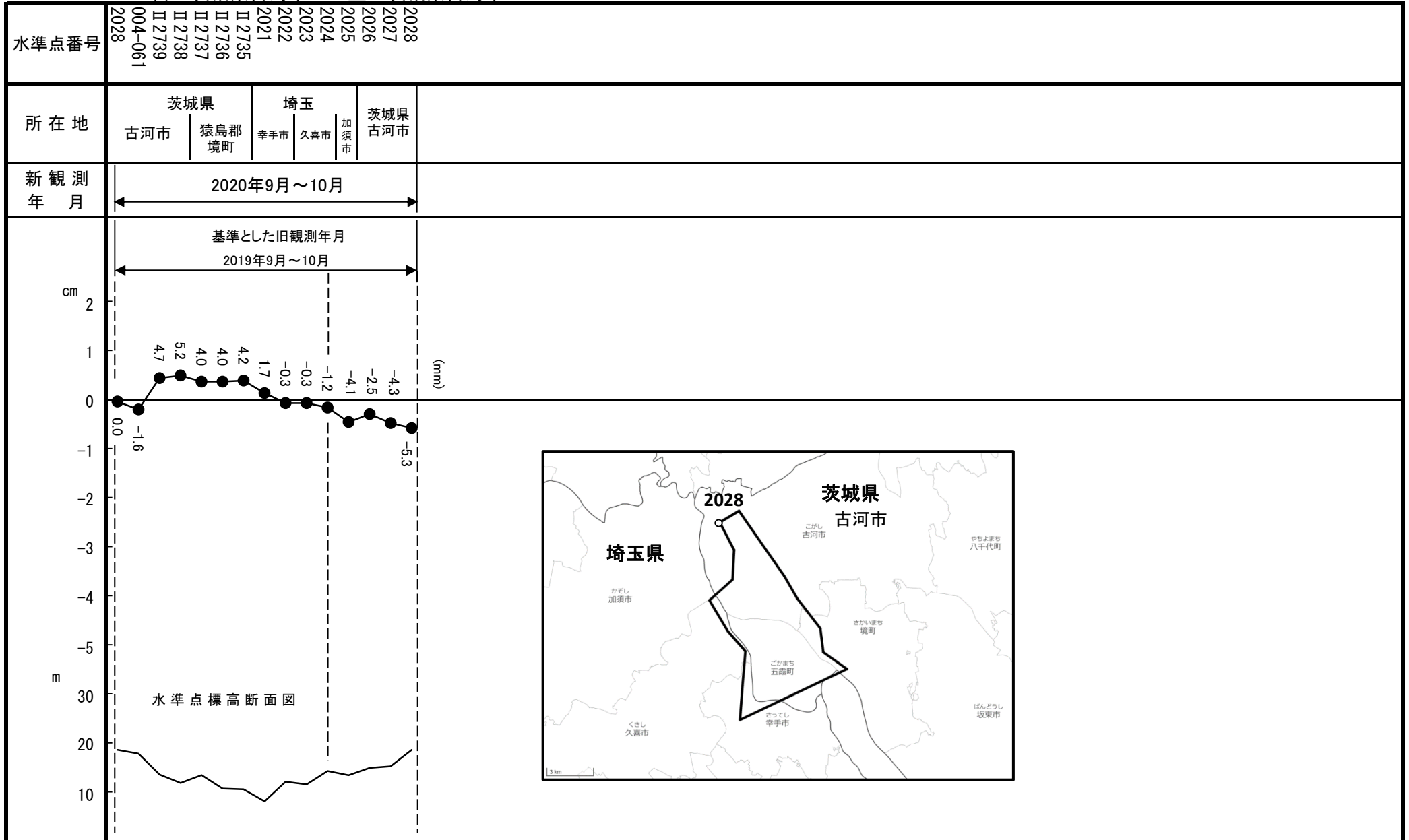


20-02-02

自 新潟県新潟市秋葉区 至 新潟県阿賀野市

水準点番号	II 2027 II 2026 II 2025 II 2161 II 2162 II 2163
所在地	新潟県 新潟市 秋葉区 阿賀野市
新観測年月	2020年8月~9月
基準とした旧観測年月	2019年9月
cm	(mm) 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4
m	30 20 10
水準点標高断面図	

20-03-01 自 茨城県古河市 至 茨城県古河市



20-03-02 自 埼玉県加須市 至 茨城県古河市

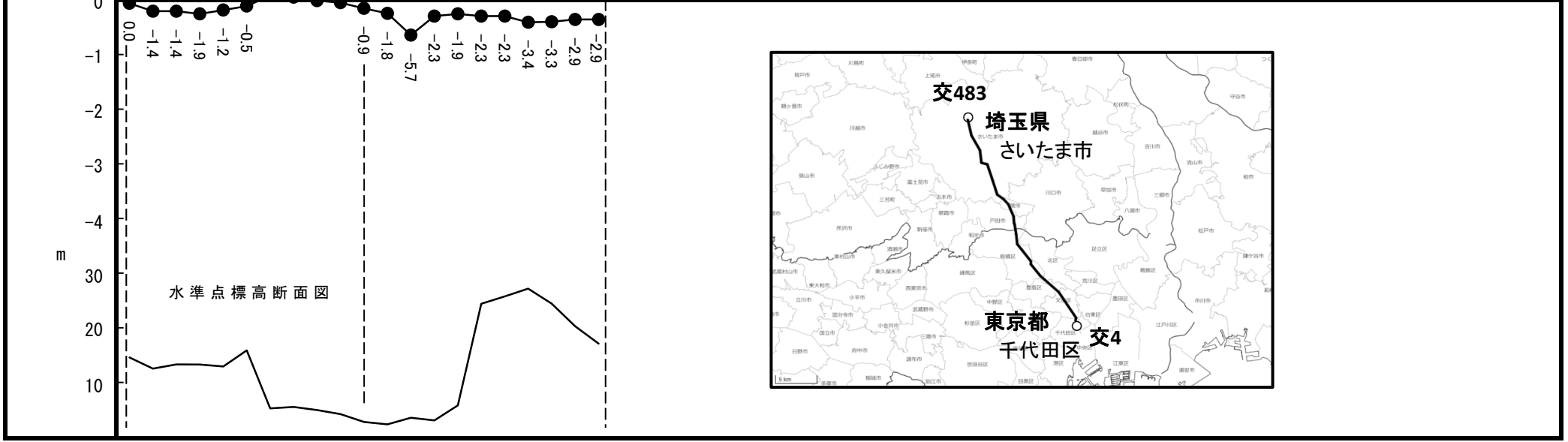
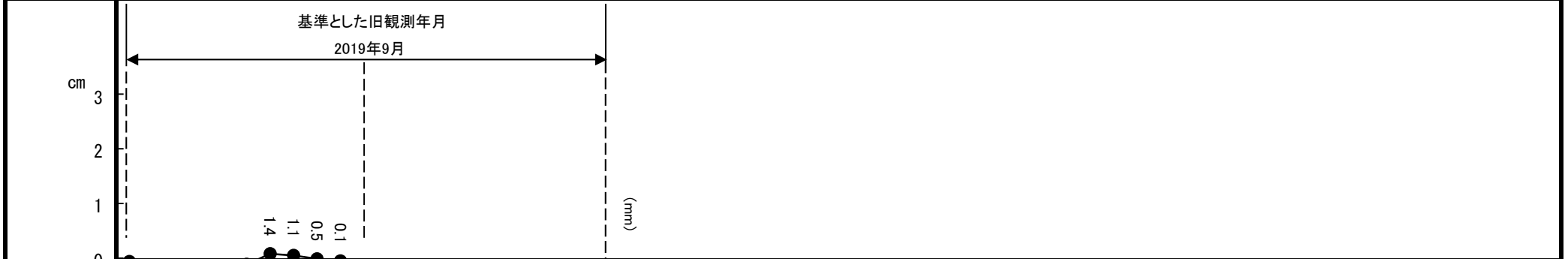
水準点番号	2025	II 2540	2028		
所在地	埼玉県 加須市	茨城県 古河市			
新観測年月	←→		2020年9~10月		

水準点標高断面図

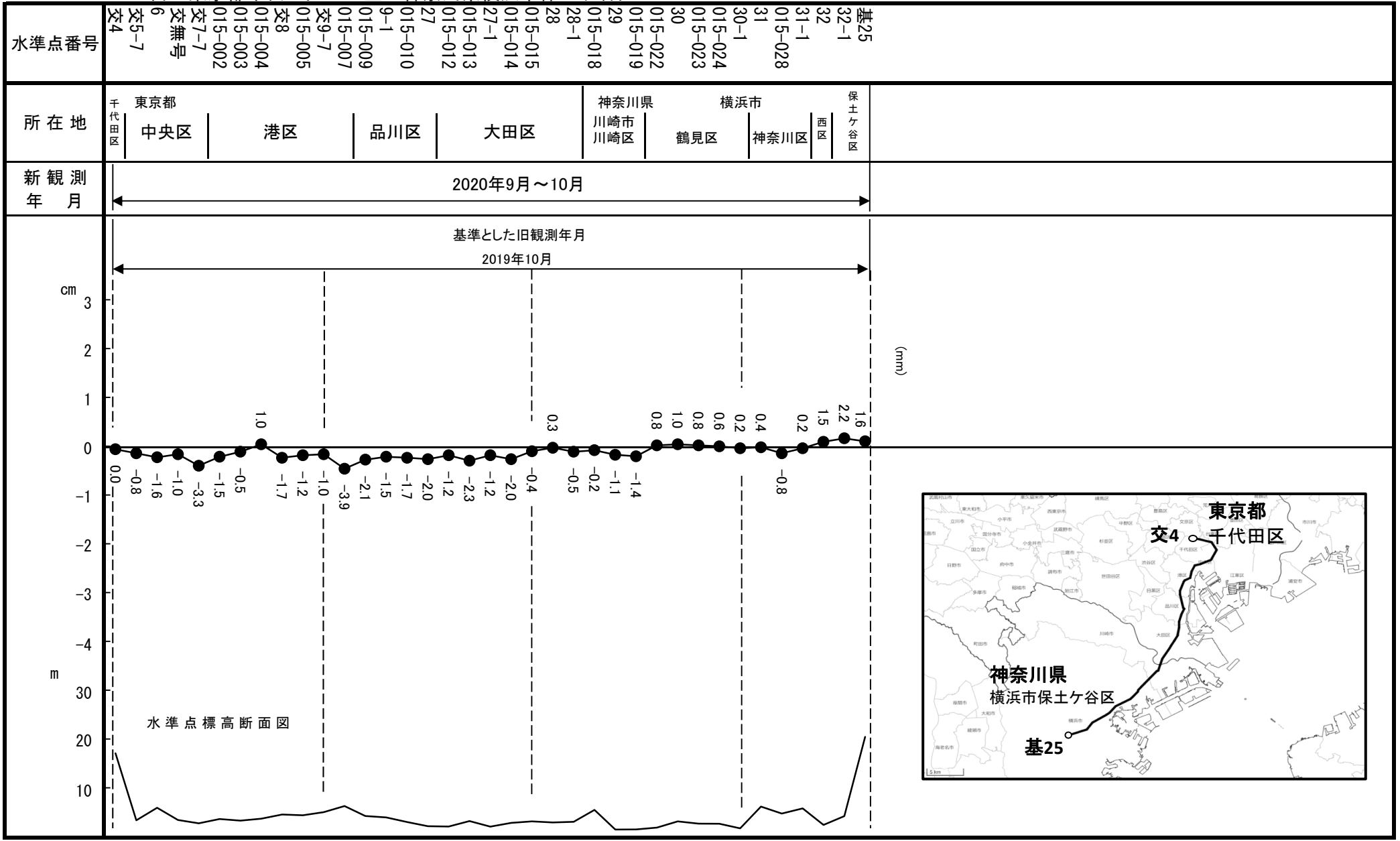
20-03-03 自 埼玉県さいたま市 至 東京都千代田区

水準点番号	交483 482 481 017-025 480 交479 478 017-019 477 017-017 交476 017-016 475 017-014 474 473 017-011 017-009 017-006 017-002 交4	埼玉県さいたま市	蕨市	戸田市	東京都板橋区	豊島区	文京区	千代田区
-------	---	----------	----	-----	--------	-----	-----	------

新観測年月	2020年10月							
-------	----------	--	--	--	--	--	--	--



20-03-04 自 東京都千代田区 至 神奈川県横浜市保土ヶ谷区

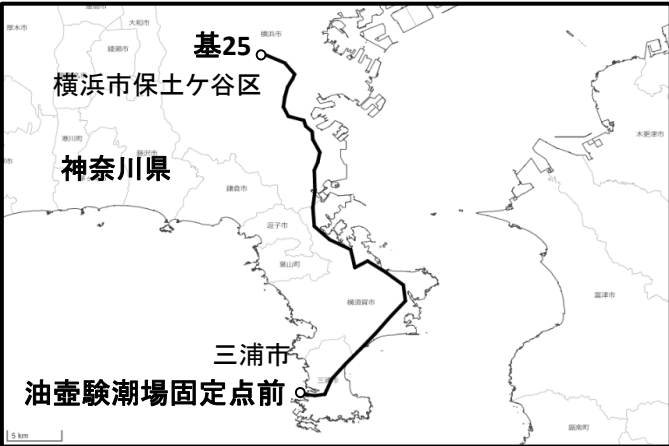
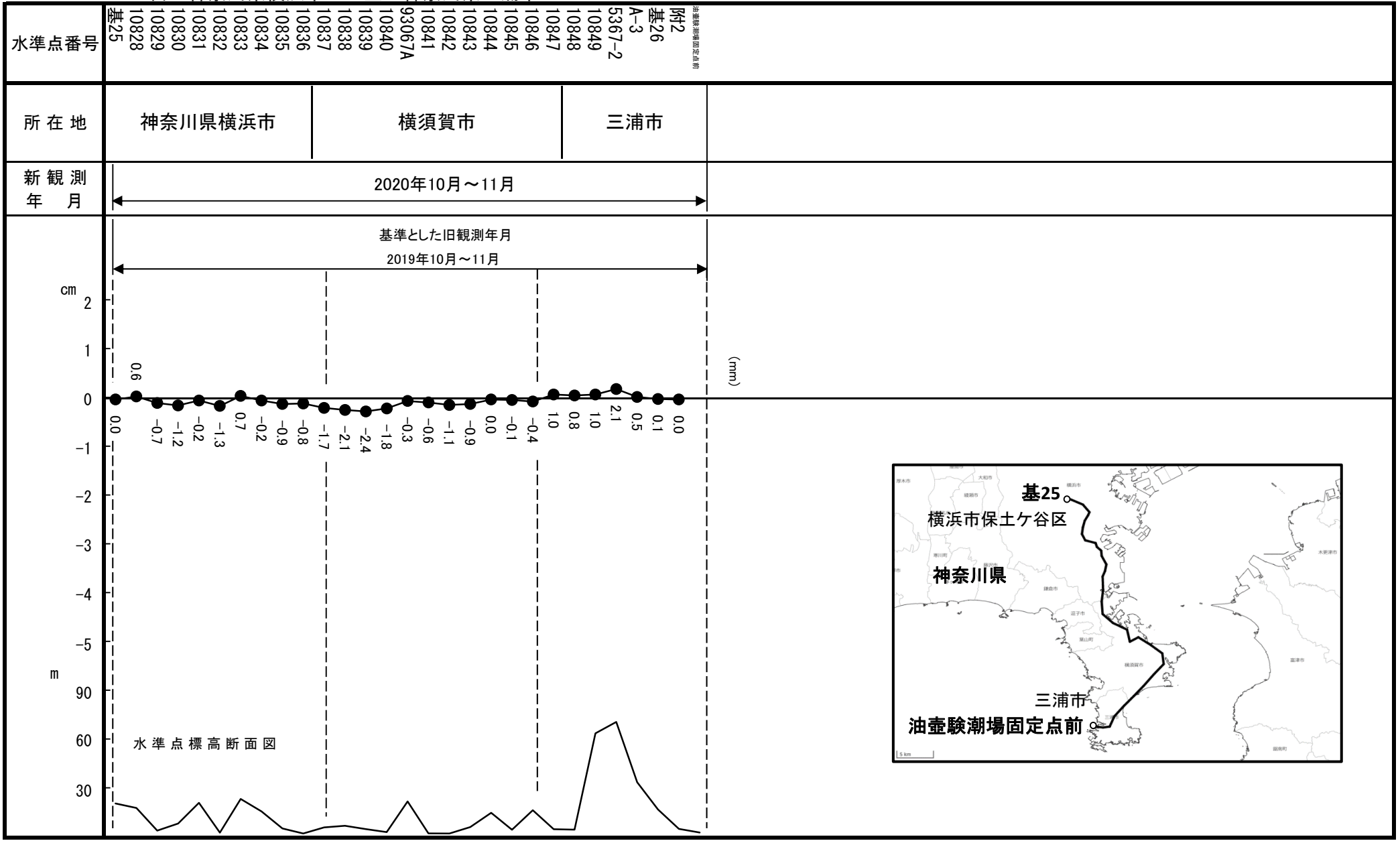


20-03-05

自 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 至 神奈川県横浜市戸塚区

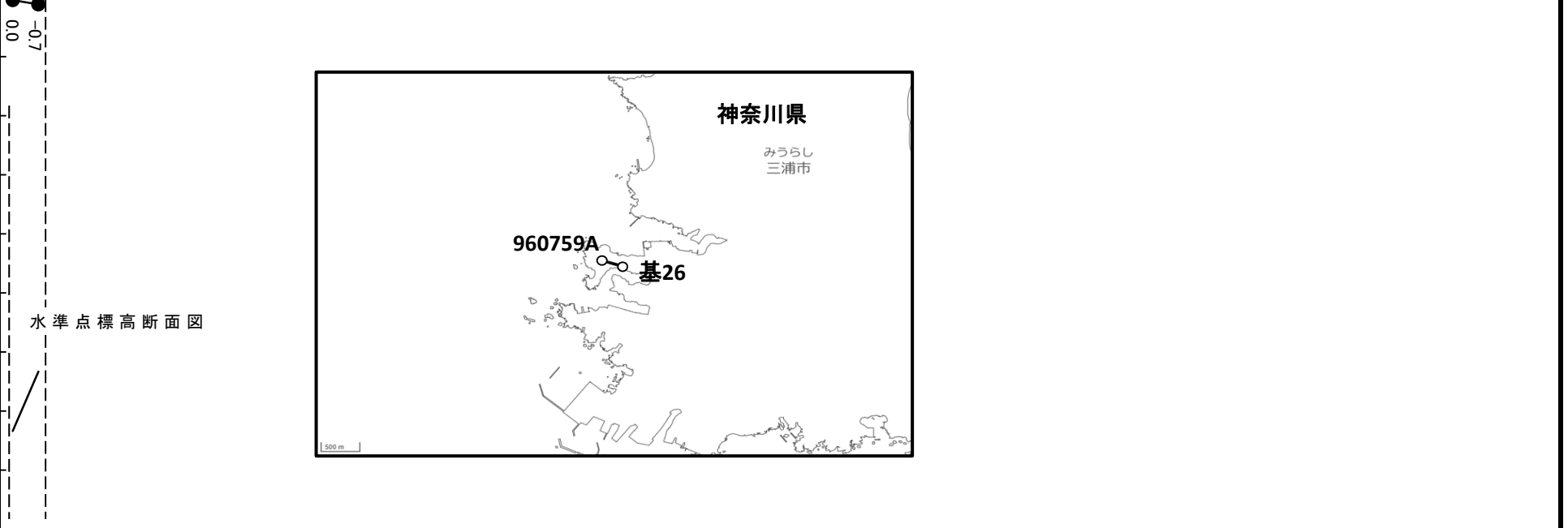
水準点番号	交35-7 970804A 34-1 34 33-1 基25																					
所在地	神奈川県横浜市 保土ヶ谷区 戸塚区 泉区																					
新観測年月	2020年10月																					
新観測年月 基準とした旧観測年月 2019年12月 cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 m 60 40 20 水準点標高断面図 (mm)	<p>The cross-section diagram shows a vertical axis with a scale from 0 to 3 cm and -1 to -4 m. A horizontal dashed line represents the 0 cm / 0 m level. Data points are plotted as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Point</th> <th>Elevation (mm)</th> <th>Elevation (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0.5</td> <td>-0.005</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.4</td> <td>-0.004</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.0</td> <td>0.000</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>-0.1</td> <td>-0.001</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0.9</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>0.0</td> <td>0.000</td> </tr> </tbody> </table> <p>The map shows Kanagawa Prefecture with various cities and towns. The locations of base points 基25 (Yokohama City, Hodogaya Ward) and 交35-7 (Yokohama City, Hodogaya Ward) are marked with circles. A scale bar indicates 3 km.</p>	Point	Elevation (mm)	Elevation (m)	1	0.5	-0.005	2	0.4	-0.004	3	0.0	0.000	4	-0.1	-0.001	5	0.9	0.009	6	0.0	0.000
Point	Elevation (mm)	Elevation (m)																				
1	0.5	-0.005																				
2	0.4	-0.004																				
3	0.0	0.000																				
4	-0.1	-0.001																				
5	0.9	0.009																				
6	0.0	0.000																				

20-03-06 自 神奈川県横浜市 至 神奈川県三浦市



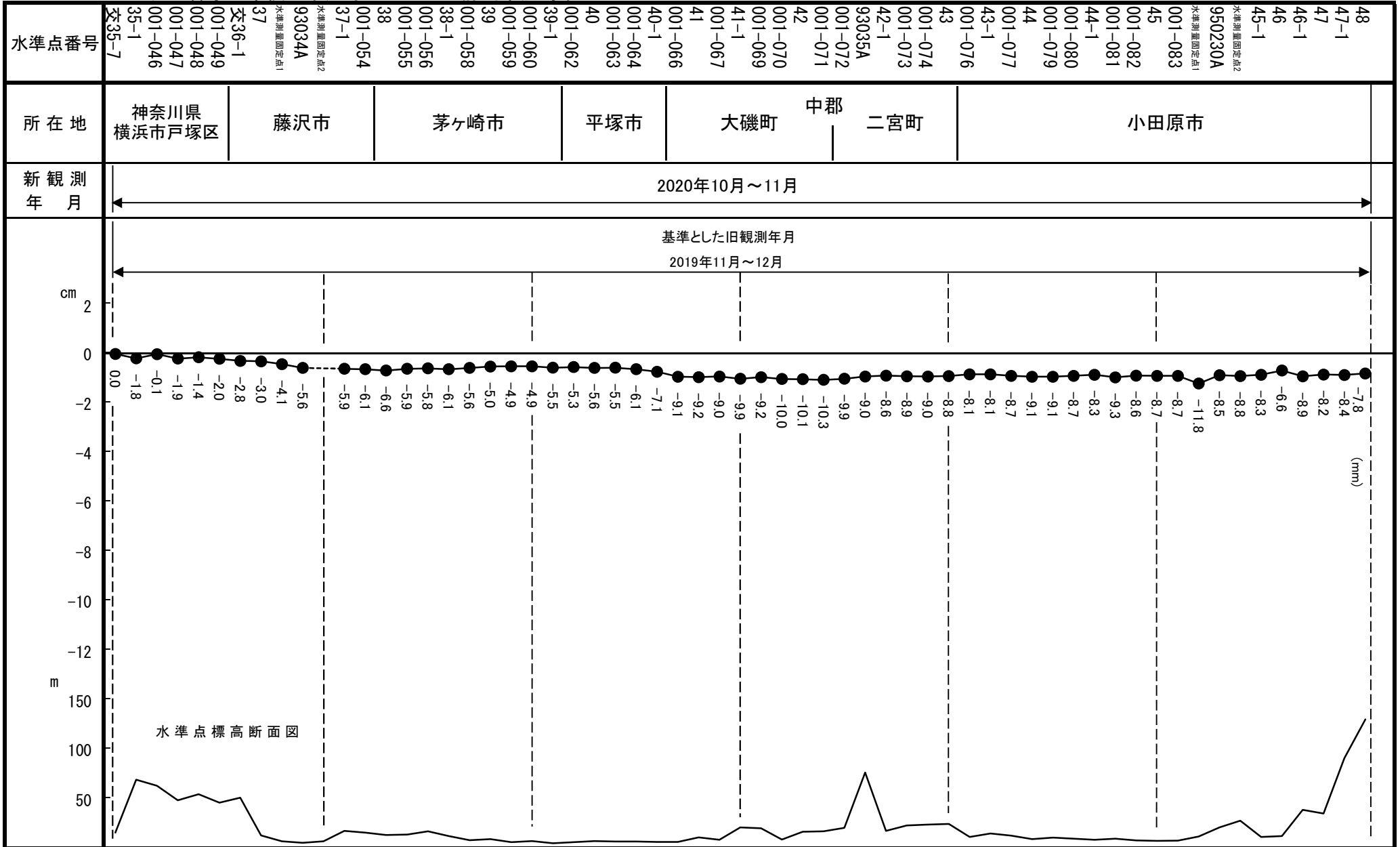
20-03-07

自 神奈川県三浦市 至 神奈川県三浦市

水準点番号	960759A 基26
所在地	神奈川県 三浦市
新観測年月	2020年11月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2019年11月
	 <p>cm</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>0</p> <p>-1</p> <p>-2</p> <p>-3</p> <p>-4</p> <p>-5</p> <p>m</p> <p>30</p> <p>20</p> <p>10</p> <p>(mm)</p> <p>0.0</p> <p>-0.7</p> <p>神奈川県</p> <p>みうらし 三浦市</p> <p>960759A</p> <p>基26</p> <p>500 m</p>

20-04-01

自 神奈川県横浜市戸塚区 至 静岡県熱海市



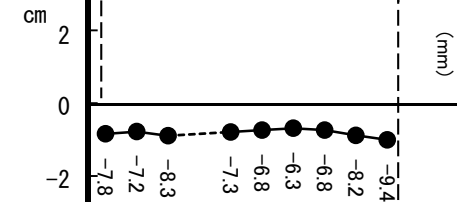
20-04-01 自 神奈川県横浜市戸塚区 至 静岡県熱海市

水準点番号	48 48-1 49 坂49-1 161217A 50 50-1 51 51-1 交52
-------	---

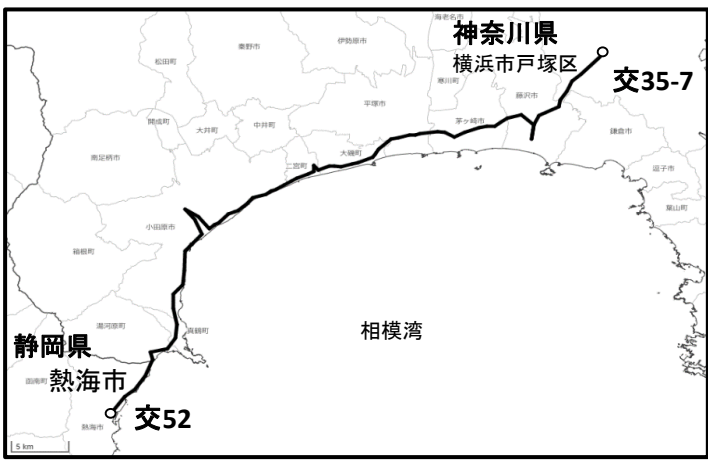
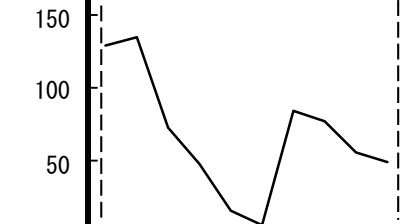
所在地	<table border="1"> <tr> <td>神奈川県 足柄下郡 真鶴町</td> <td>静岡県 熱海市</td> </tr> </table>	神奈川県 足柄下郡 真鶴町	静岡県 熱海市
神奈川県 足柄下郡 真鶴町	静岡県 熱海市		

新観測年月	2020年10月～11月
-------	--------------

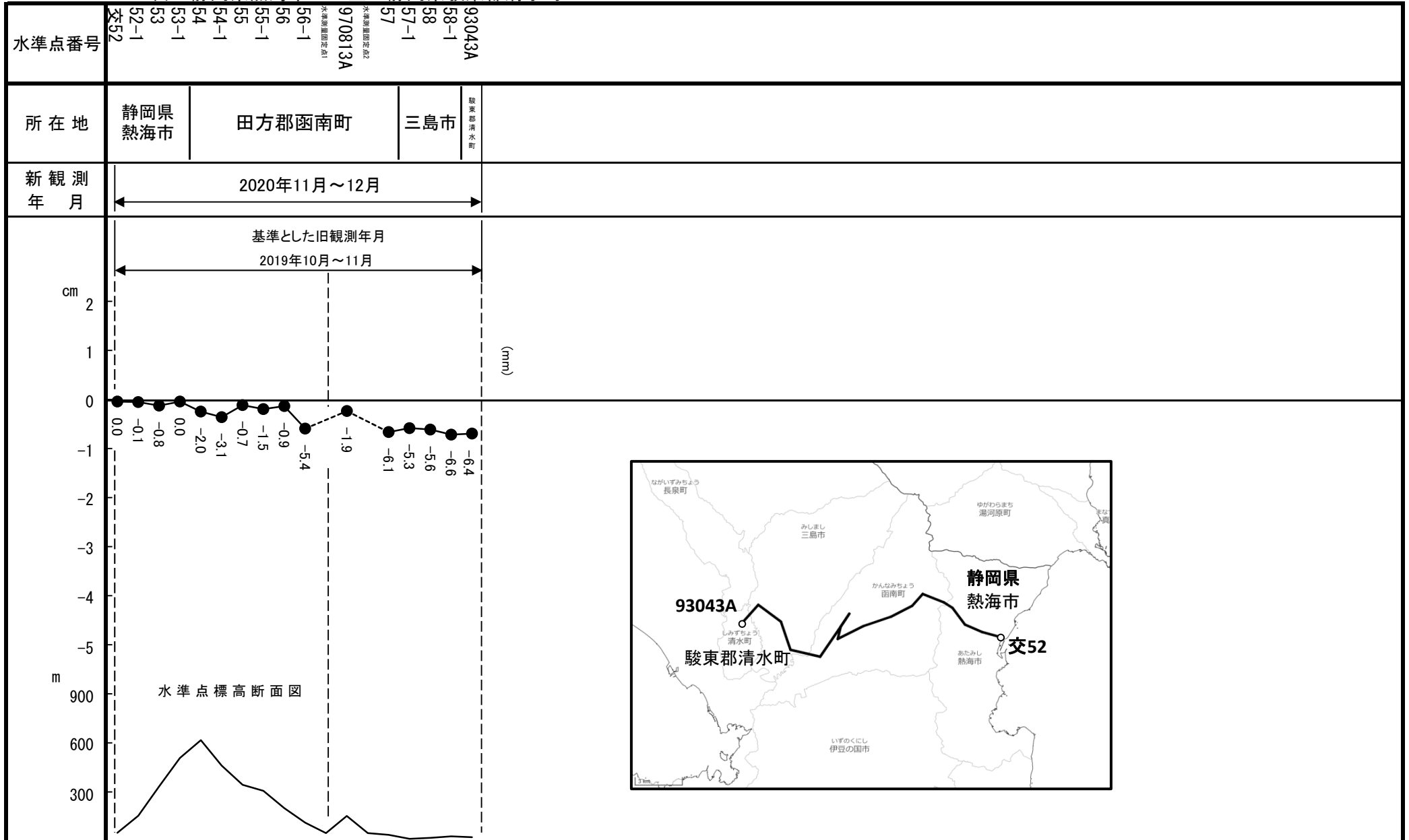
基準とした旧観測年月	2019年11月～12月
------------	--------------



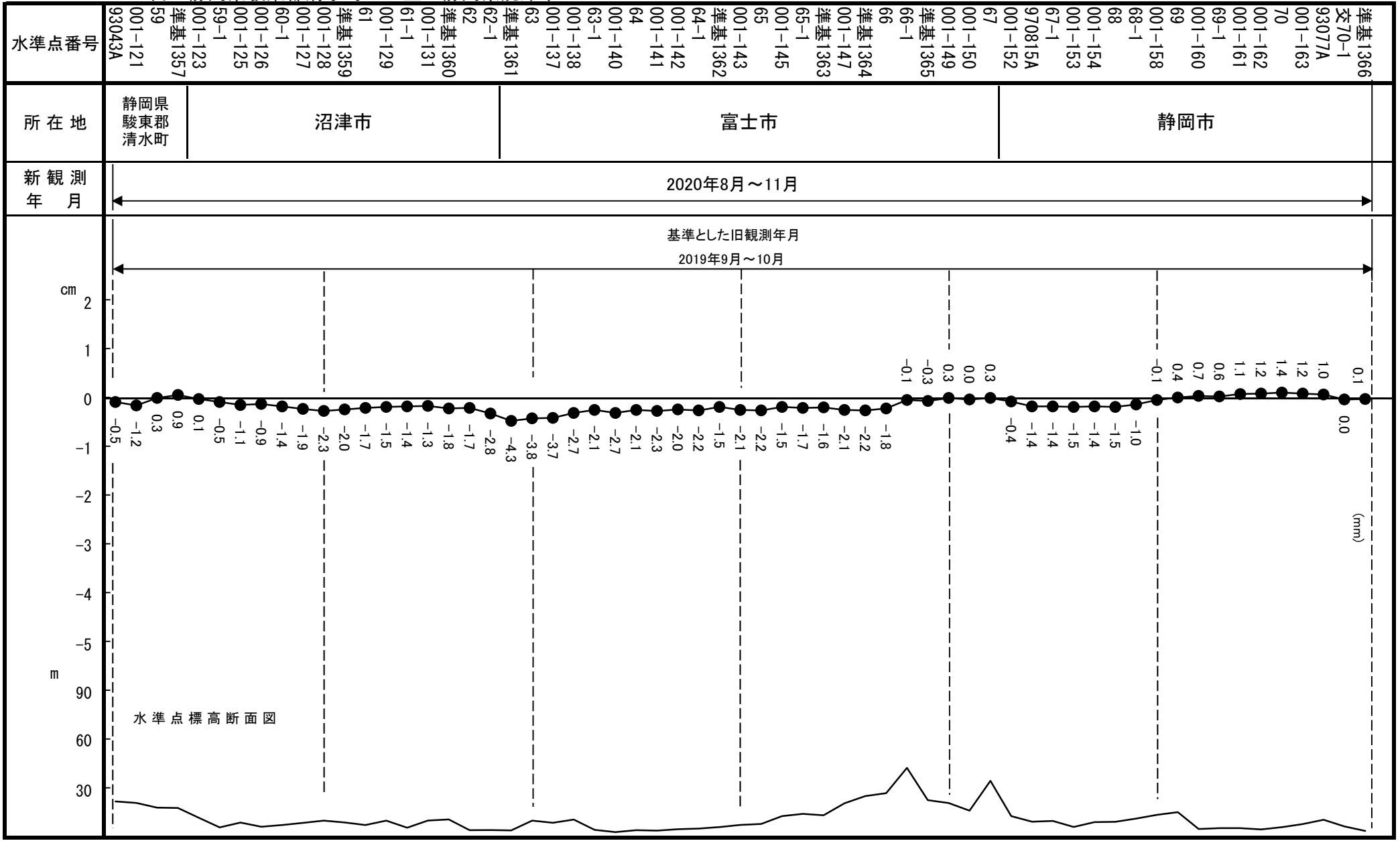
水準点標高断面図



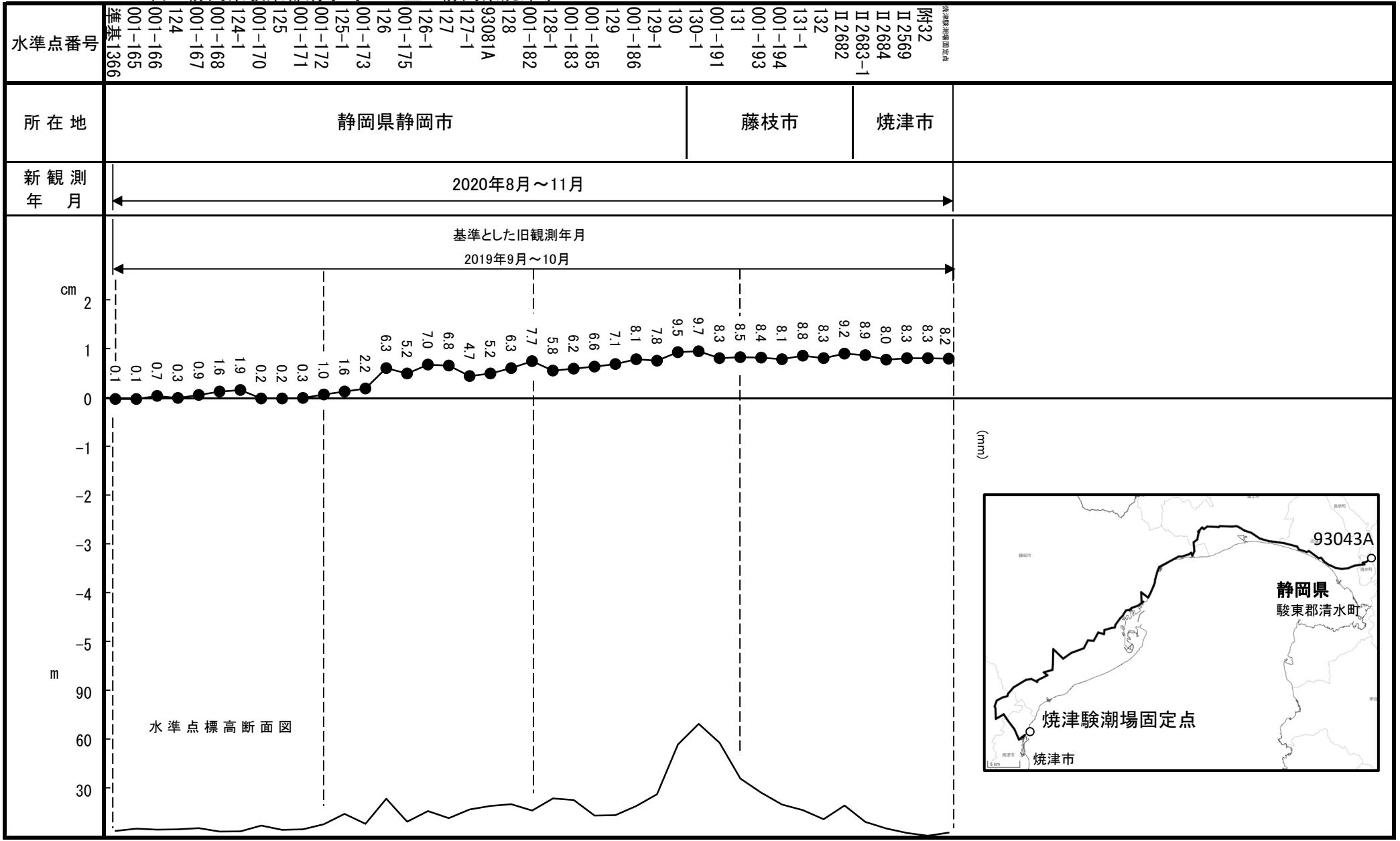
20-04-02 自 静岡県熱海市 至 静岡県駿東郡清水町



20-04-03 自 静岡県駿東郡清水町 至 静岡県焼津市

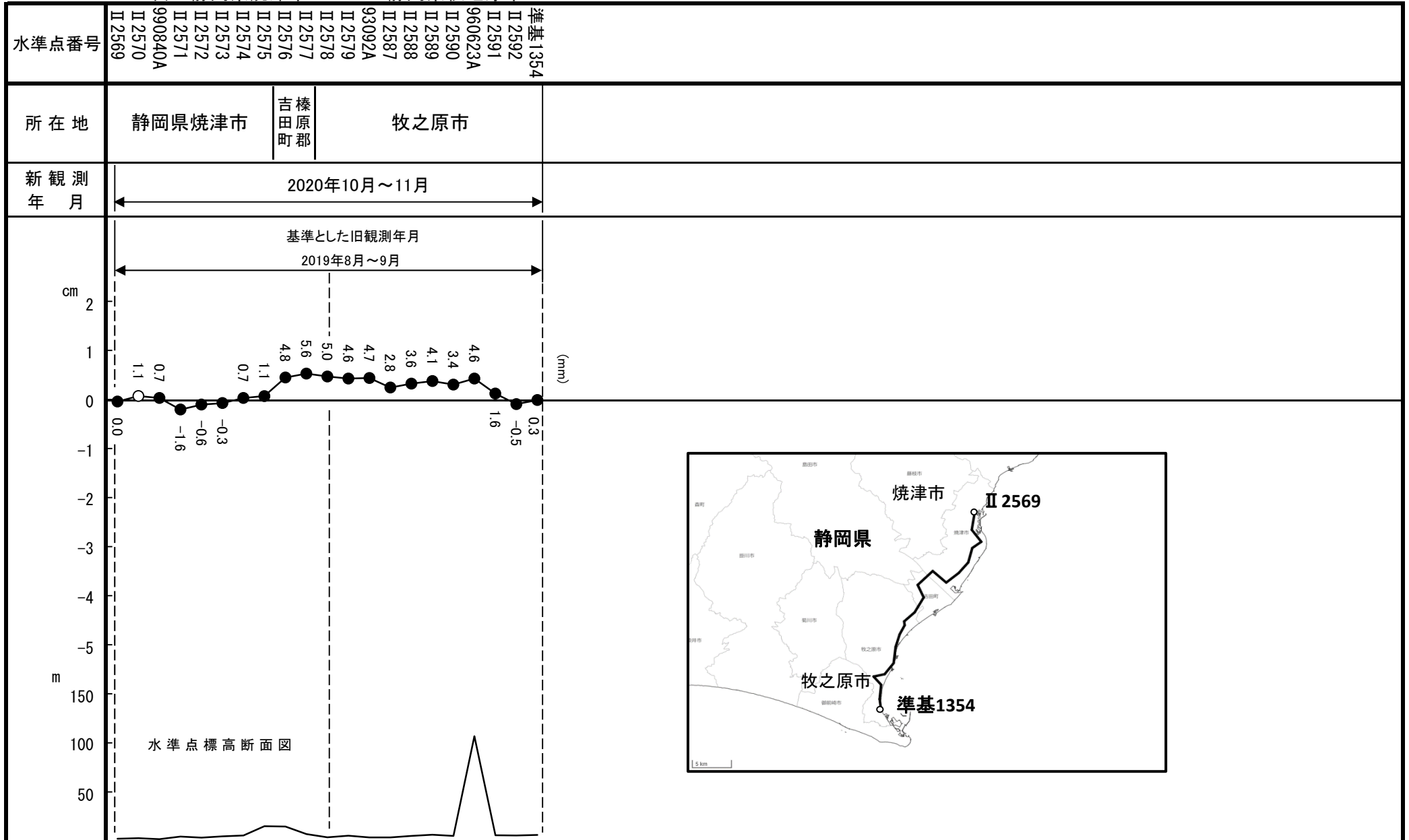


20-04-03 自 静岡県駿東郡清水町 至 静岡県焼津市

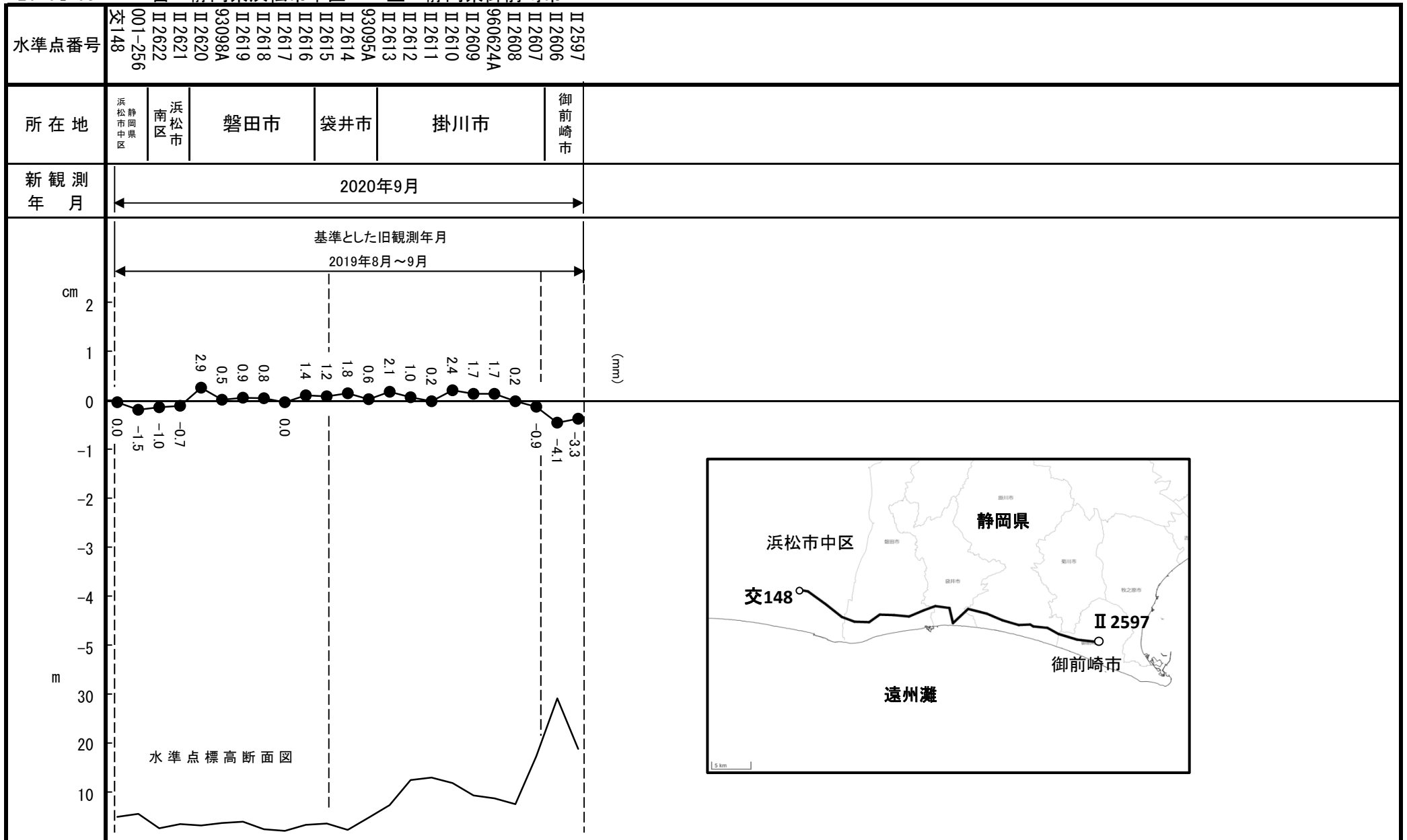


20-04-04

自 静岡県焼津市 至 静岡県牧之原市

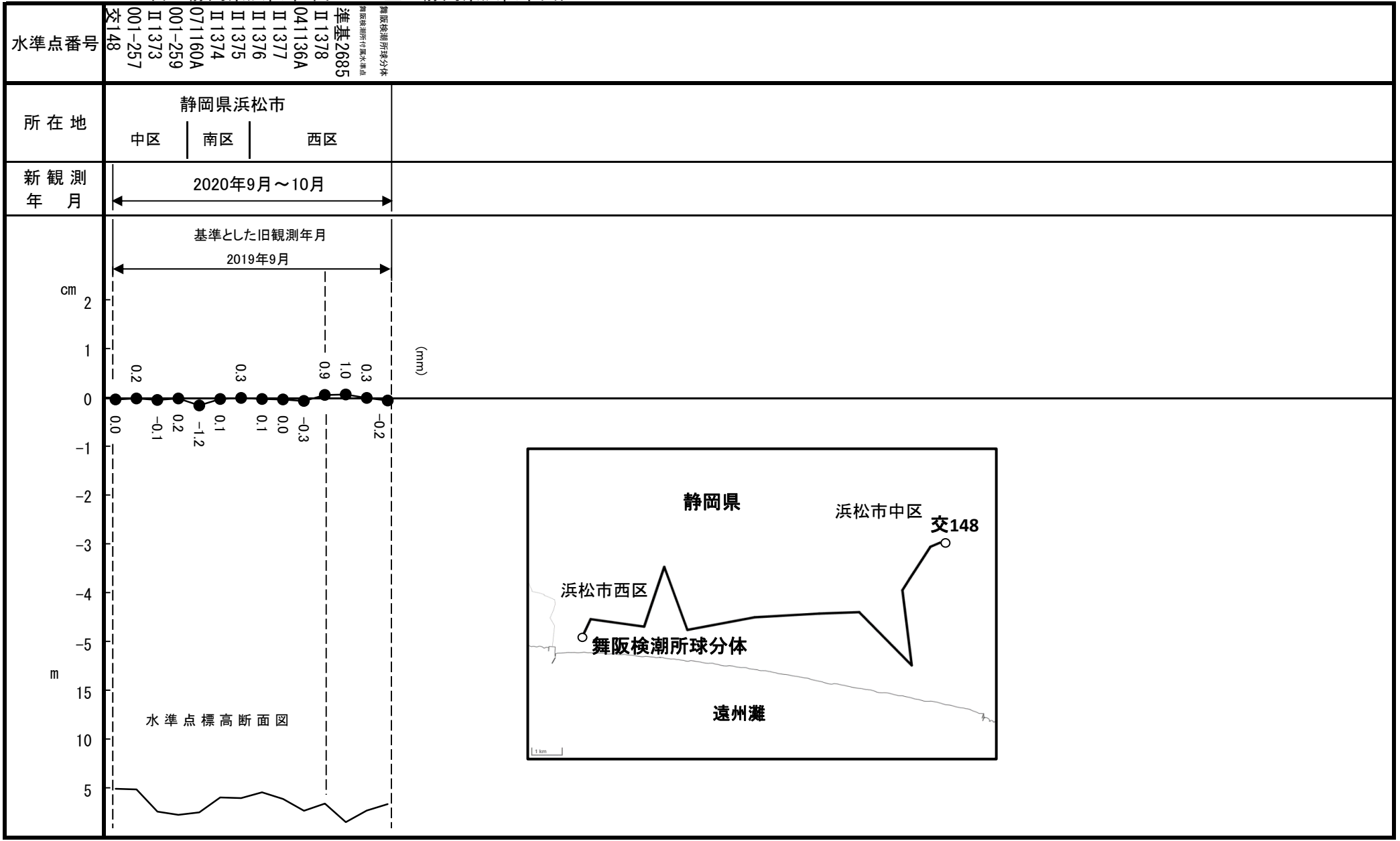


20-04-05 自 静岡県浜松市中区 至 静岡県御前崎市

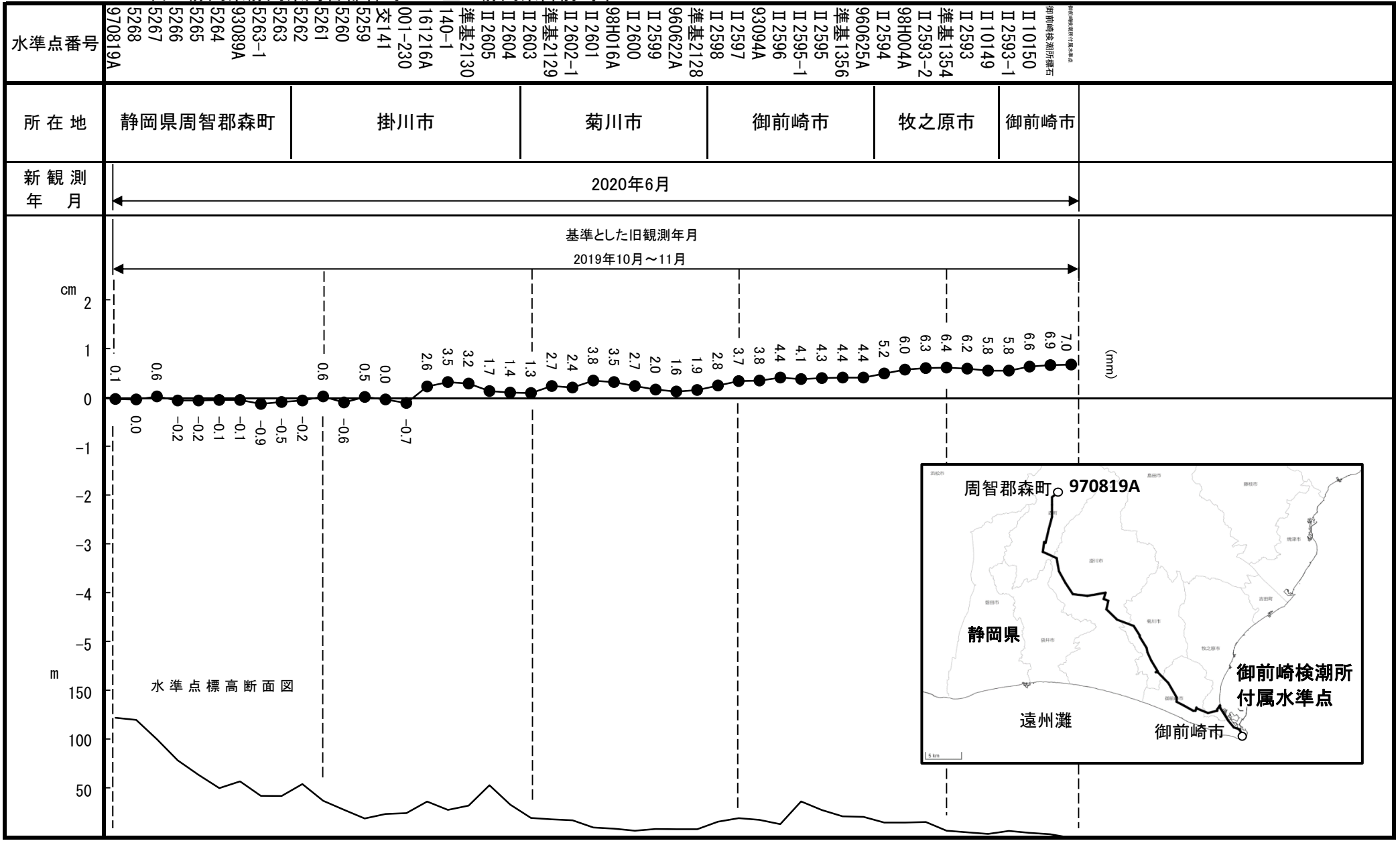


20-04-06

自 静岡県浜松市中区 至 静岡県浜松市西区

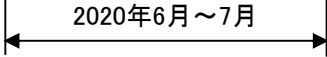
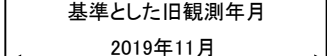

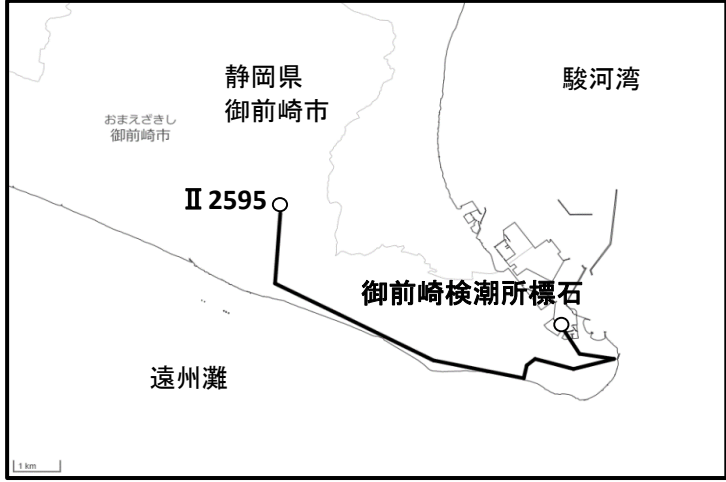
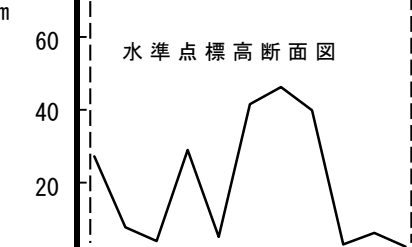


20-04-07 自 静岡県静岡県周智郡森町 至 静岡県御前崎市

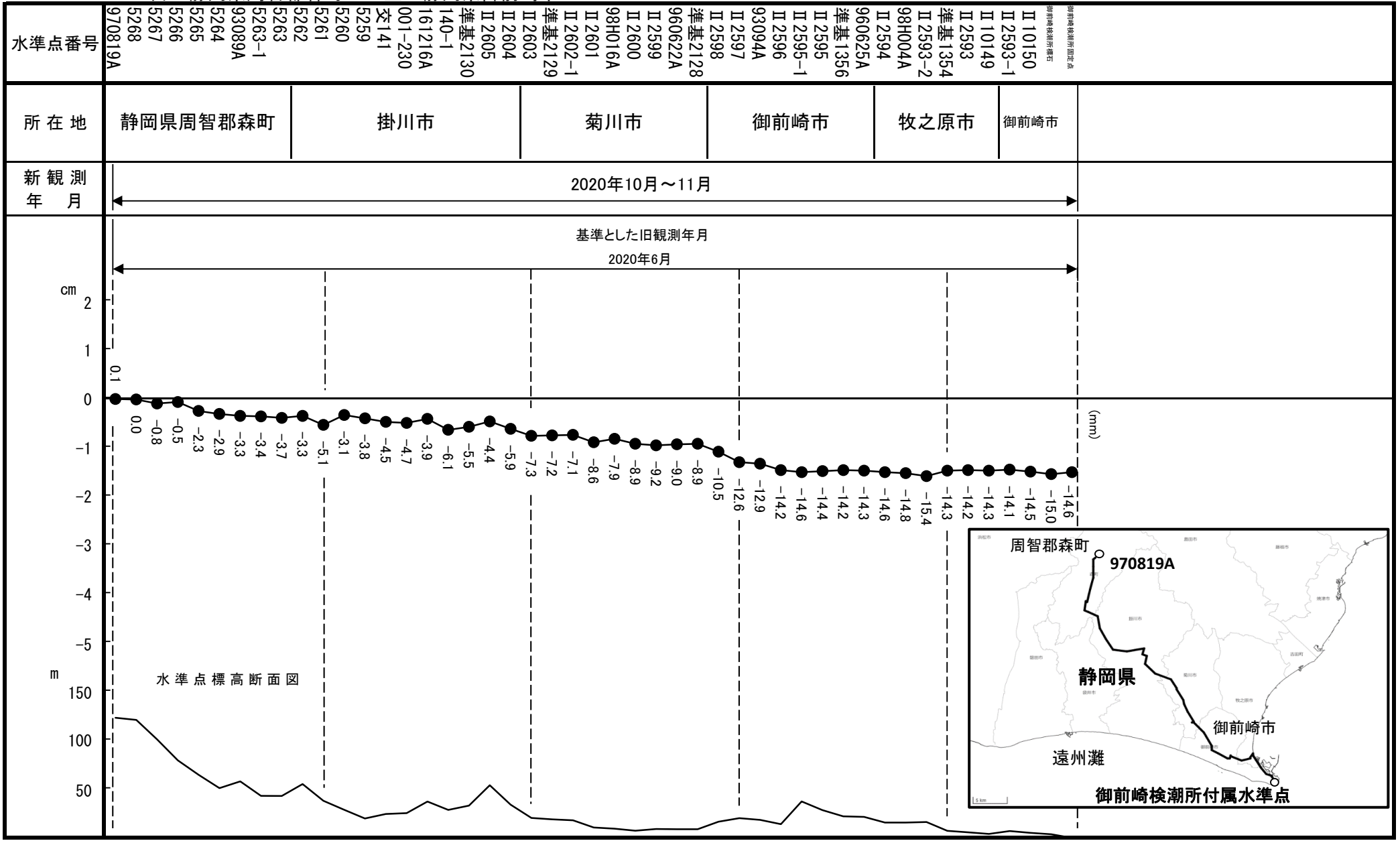


20-04-08

自 静岡県御前崎市 至 静岡県御前崎市

水準点番号	II 2595 II 10155 II 10154 II 10153 II 10152 水管固定点 091178A 水管束補助点 II 10151 御前崎検潮所標石 御前崎検潮所行庫水準点	
所在地	静岡県御前崎市	
新観測年月	2020年6月~7月 	
基準とした旧観測年月 2019年11月 	 <p>(mm)</p>	
水準点標高断面図 		

20-04-09 自 静岡県周智郡森町 至 静岡県御前崎市



20-04-10

自 静岡県御前崎市 至 静岡県御前崎市

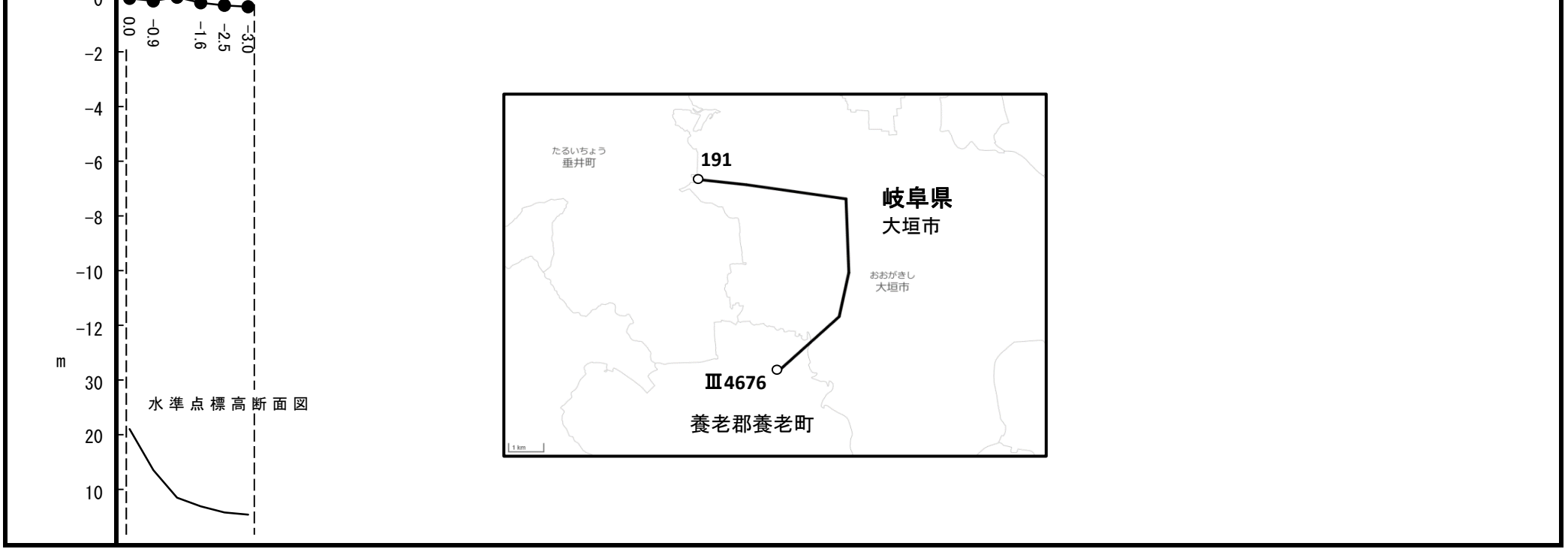
水準点番号	II 2595 II 10155 II 10154 II 10153 II 10152 II 10151 水管固定点 091178A 水管束補助点 II 10151 御前崎検潮所標石																																										
所在地	静岡県御前崎市																																										
新観測年月	2020年11月																																										
基準とした旧観測年月 2020年6月～7月	<div data-bbox="156 510 627 845"> <table border="1"> <caption>観測データ (mm)</caption> <tr><th>観測点</th><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><th>値 (mm)</th><td>0.0</td><td>-0.1</td><td>-0.2</td><td>-2.1</td><td>-3.6</td><td>-4.4</td><td>-3.5</td><td>-4.4</td><td>-4.9</td><td>-4.5</td><td>-4.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> </div> <div data-bbox="156 845 627 1436"> <p>水準点標高断面図</p> </div> <div data-bbox="739 845 1478 1340"> </div>	観測点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	値 (mm)	0.0	-0.1	-0.2	-2.1	-3.6	-4.4	-3.5	-4.4	-4.9	-4.5	-4.1									
観測点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20																							
値 (mm)	0.0	-0.1	-0.2	-2.1	-3.6	-4.4	-3.5	-4.4	-4.9	-4.5	-4.1																																

20-05-01 自 岐阜県大垣市 至 岐阜県養老郡養老町


水準点番号	191 Ⅲ4671 Ⅲ4673 Ⅲ4674 Ⅲ4675 Ⅲ4676
-------	--

所在地	岐阜県 大垣市	養老郡養老町
-----	------------	--------

新観測年月	2020年12月
-------	----------

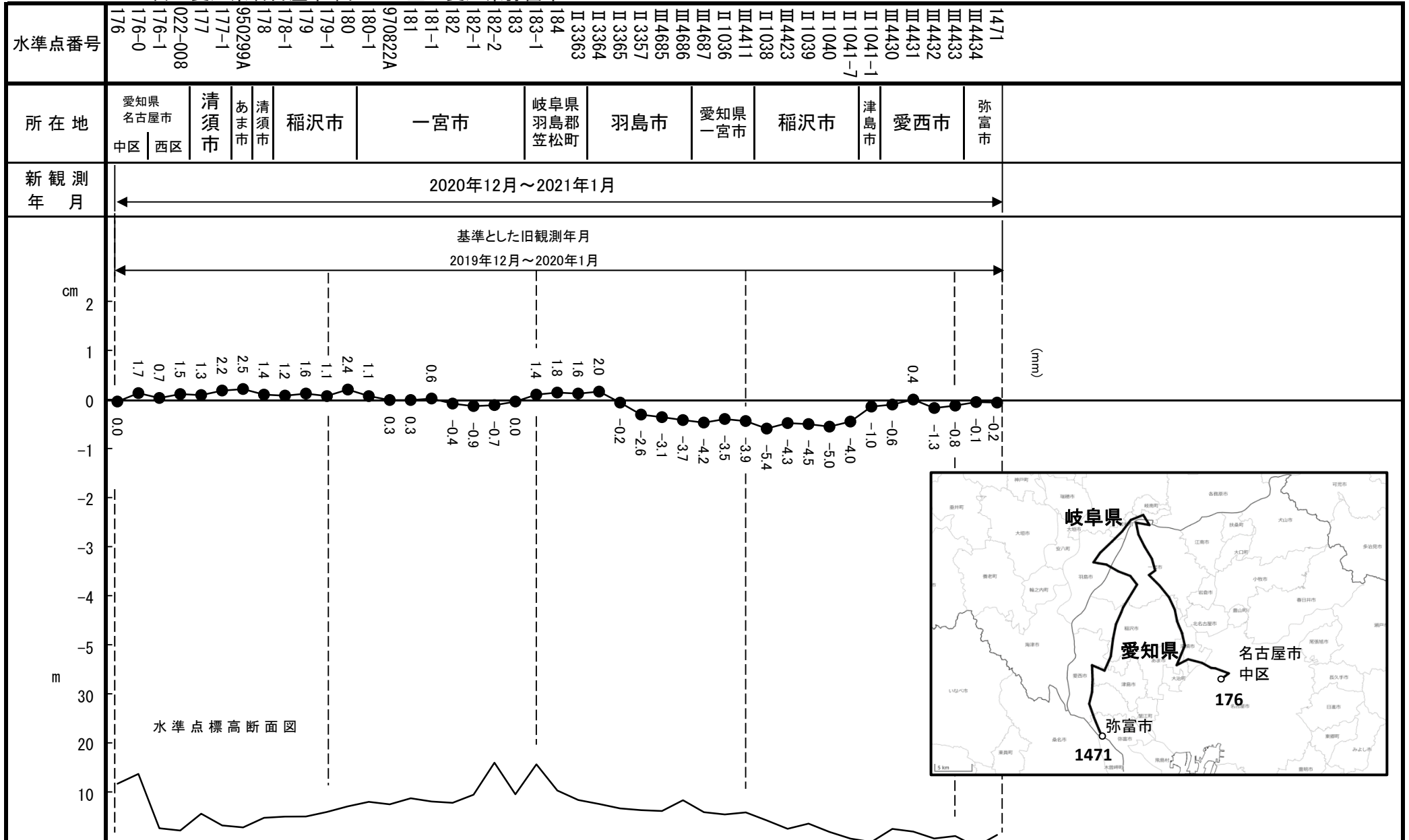


20-05-02 自 岐阜県大垣市 至 岐阜県不破郡垂井町

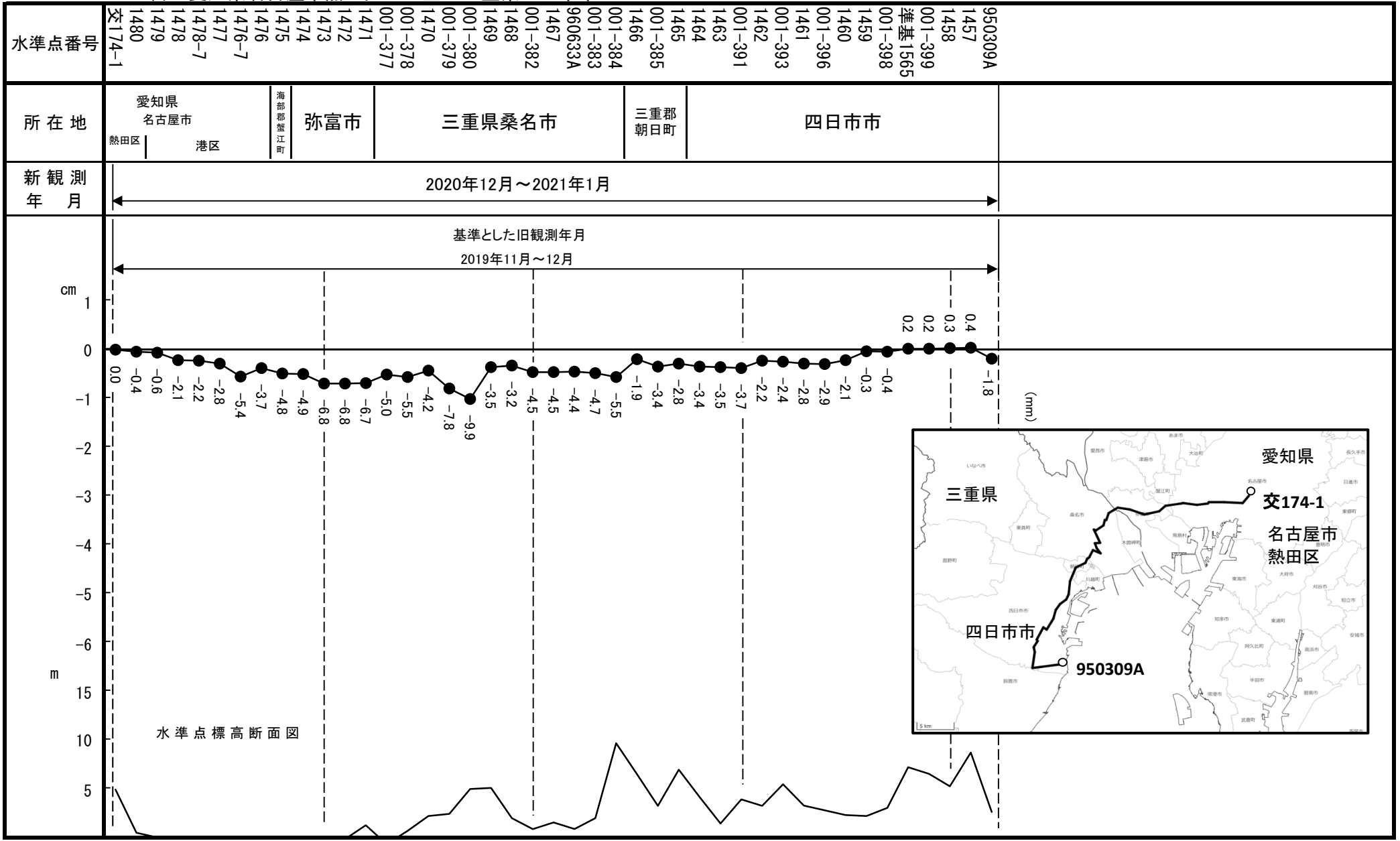
水準点番号	191 950291A
所在地	岐阜県大垣市 不破郡垂井町
新観測年月	2020年12月
水準点標高断面図	基準とした旧観測年月 2019年11月 cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 0.4 0.0 (mm)
	m 30 20 10 

20-05-03

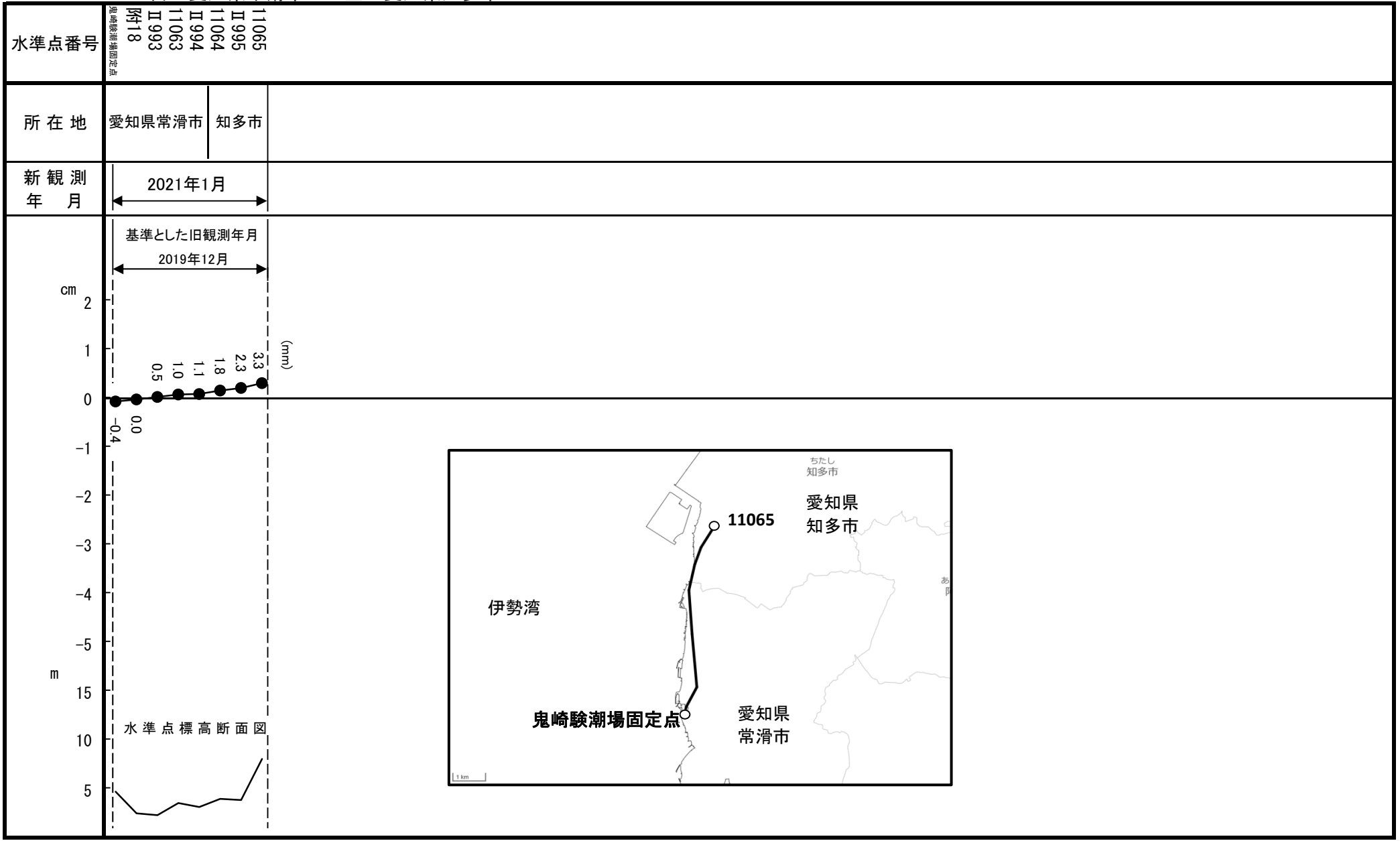
自 愛知県名古屋市中区 至 愛知県弥富市



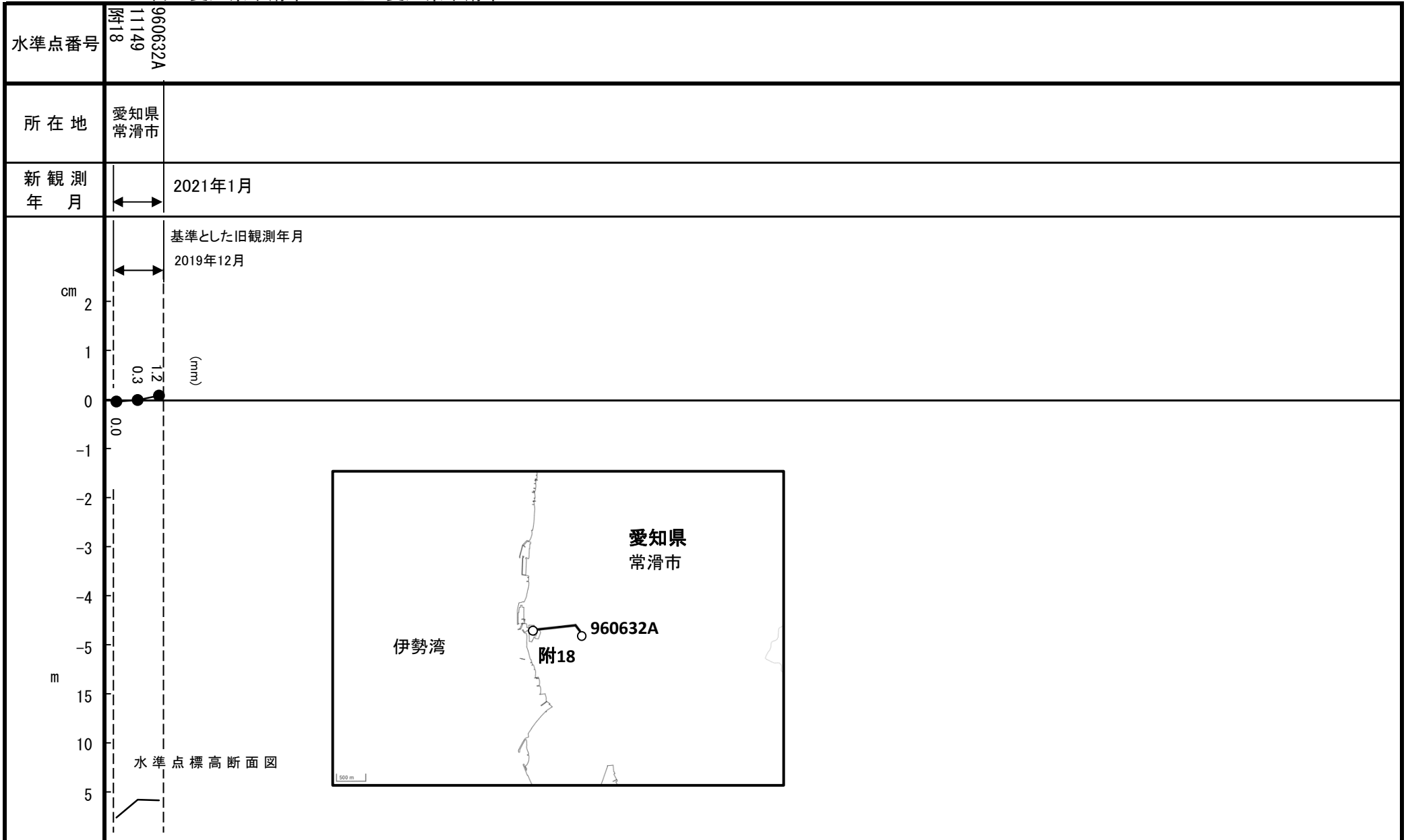
20-05-04 自 愛知県名古屋市熱田区 至 三重県四日市市



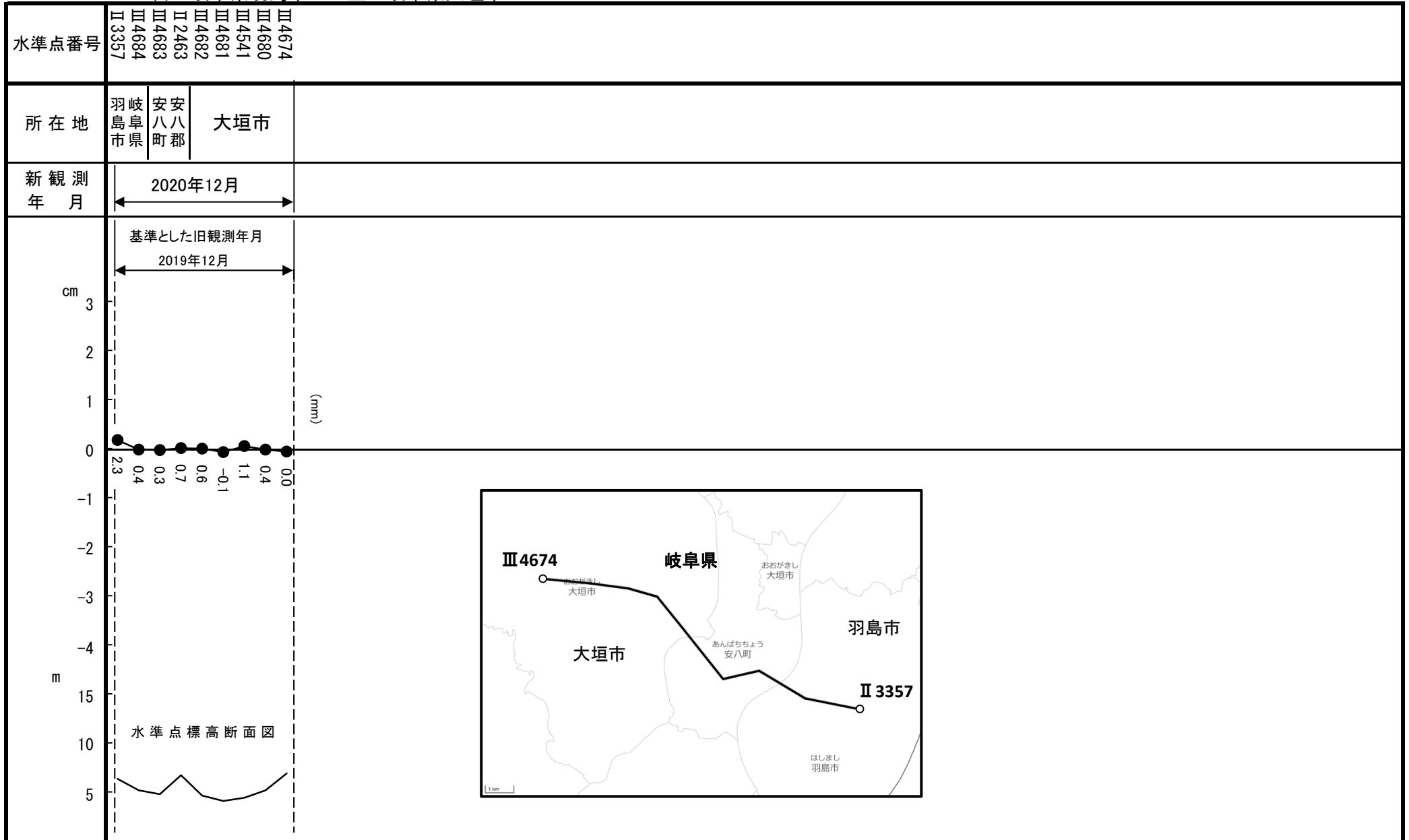
20-05-05 自 愛知県常滑市 至 愛知県知多市



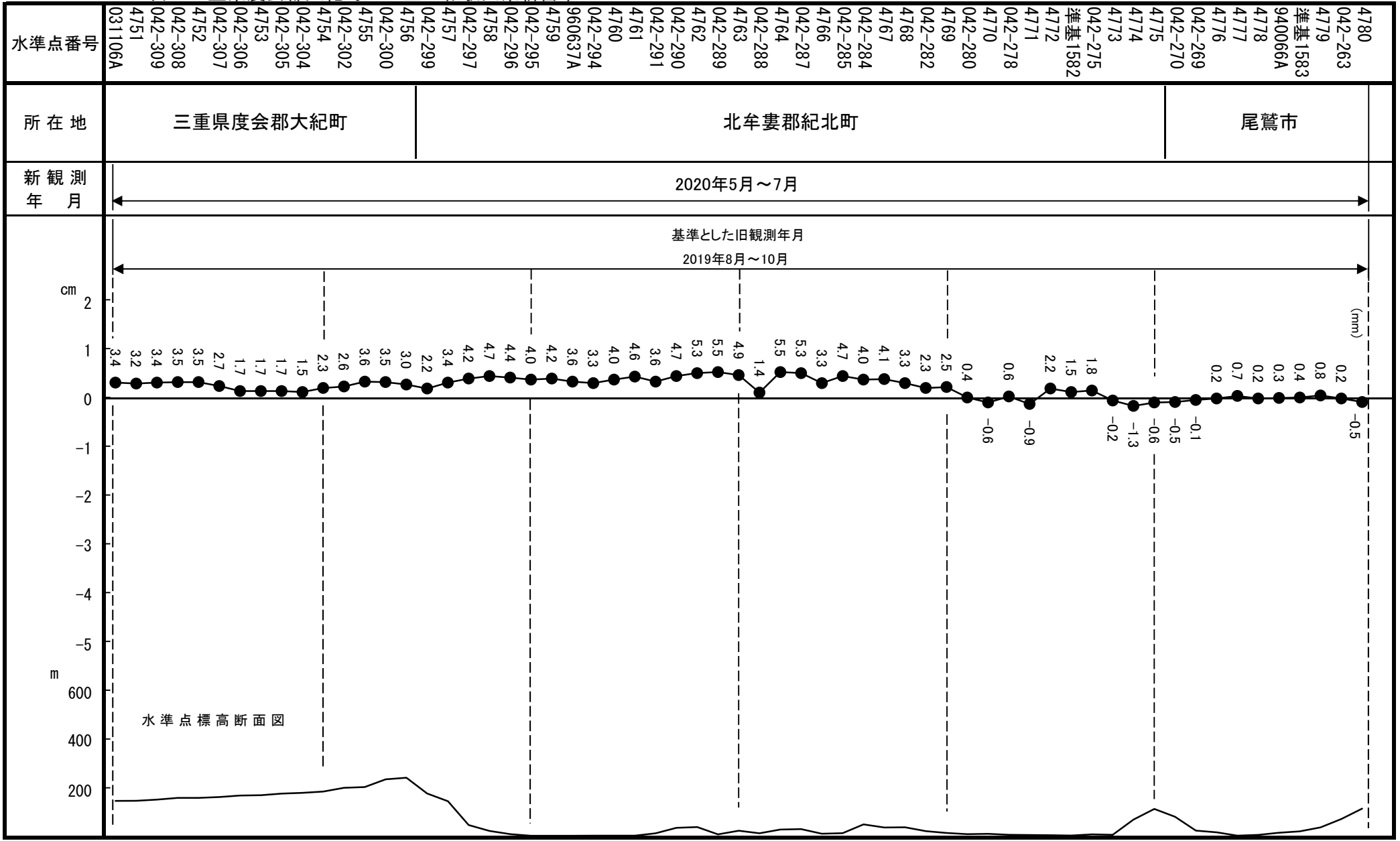
20-05-06 自 愛知県常滑市 至 愛知県常滑市



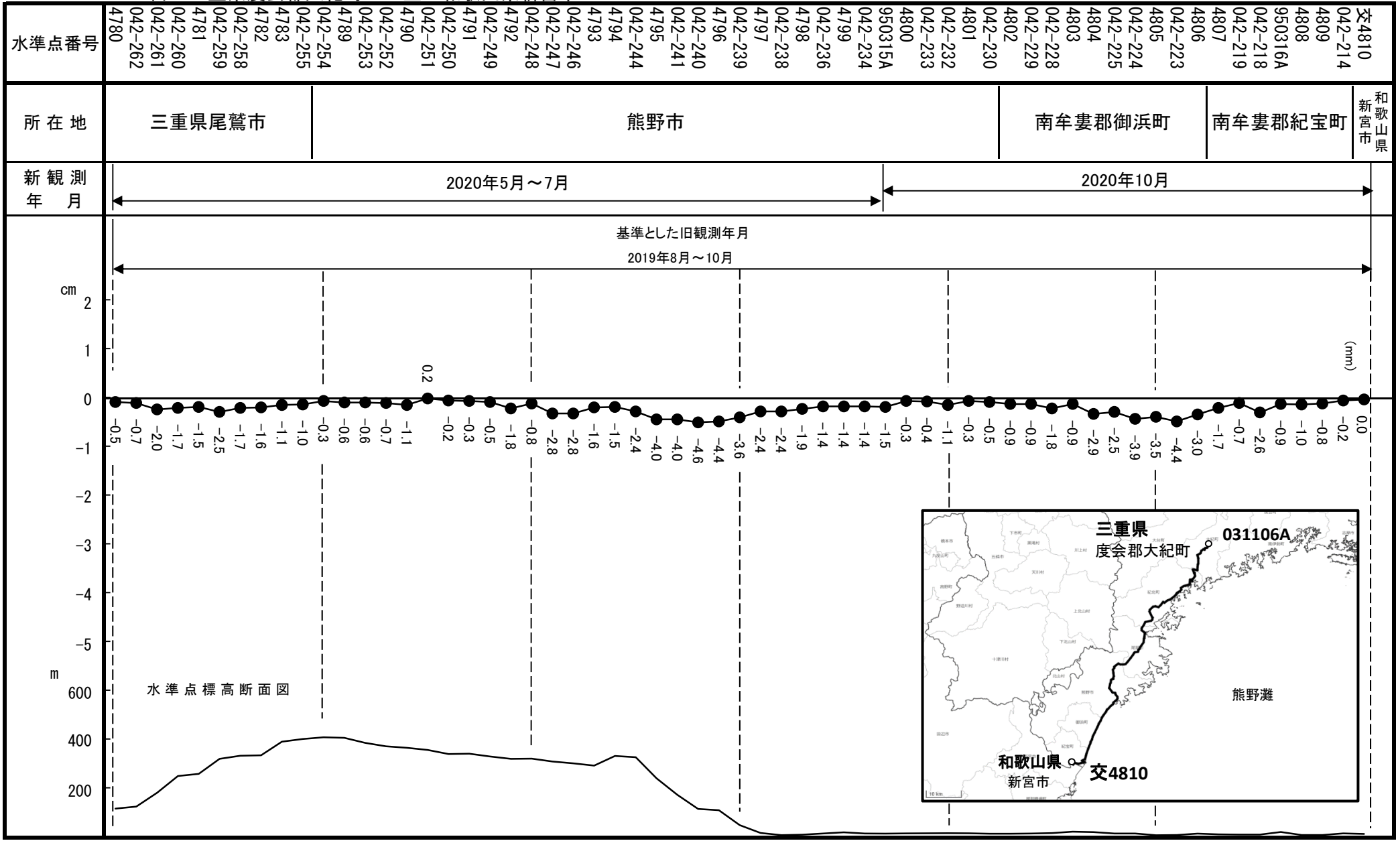
20-05-07 自 岐阜県羽島市 至 岐阜県大垣市



20-06-01 自 三重県度会郡大紀町 至 和歌山県新宮市

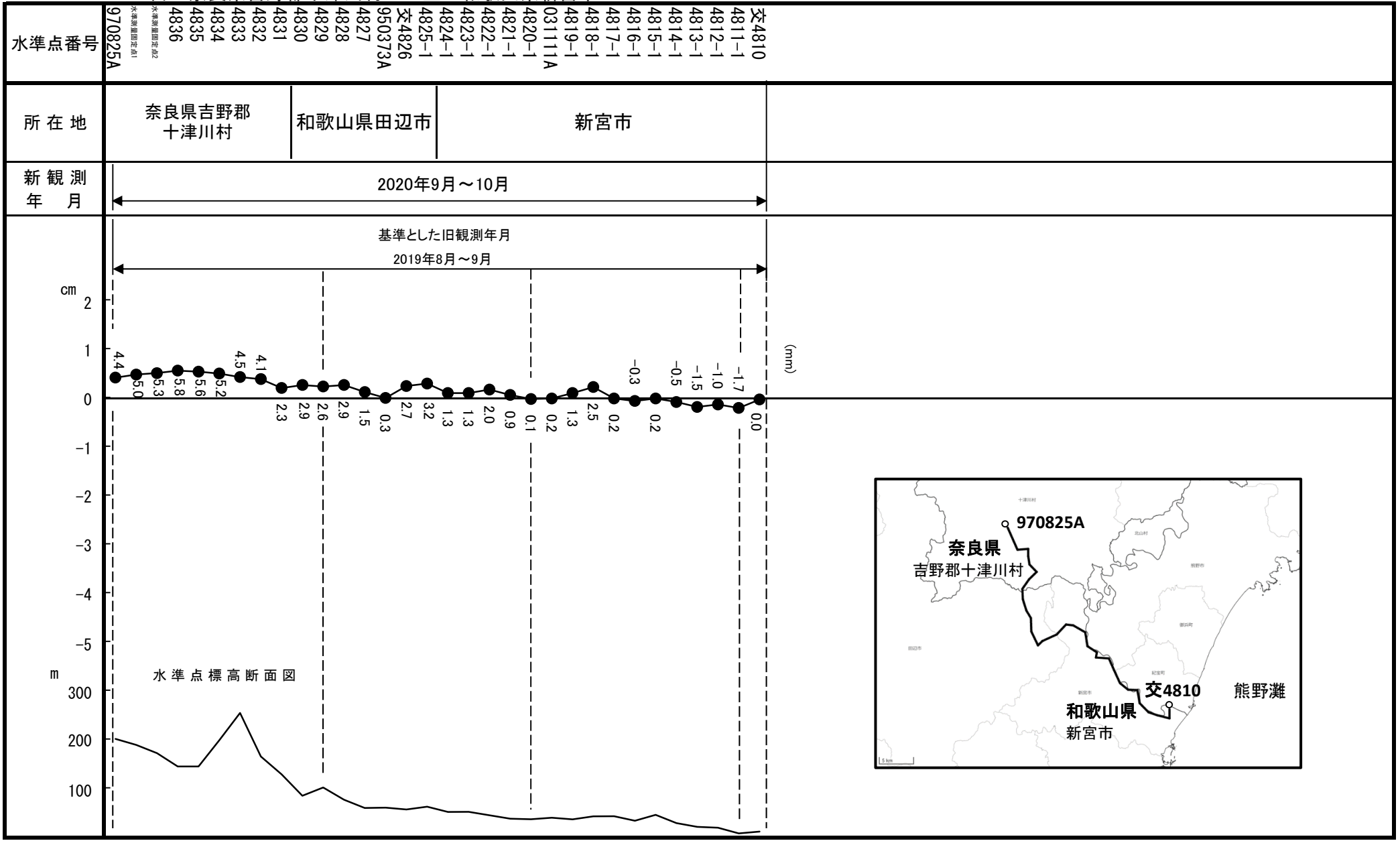


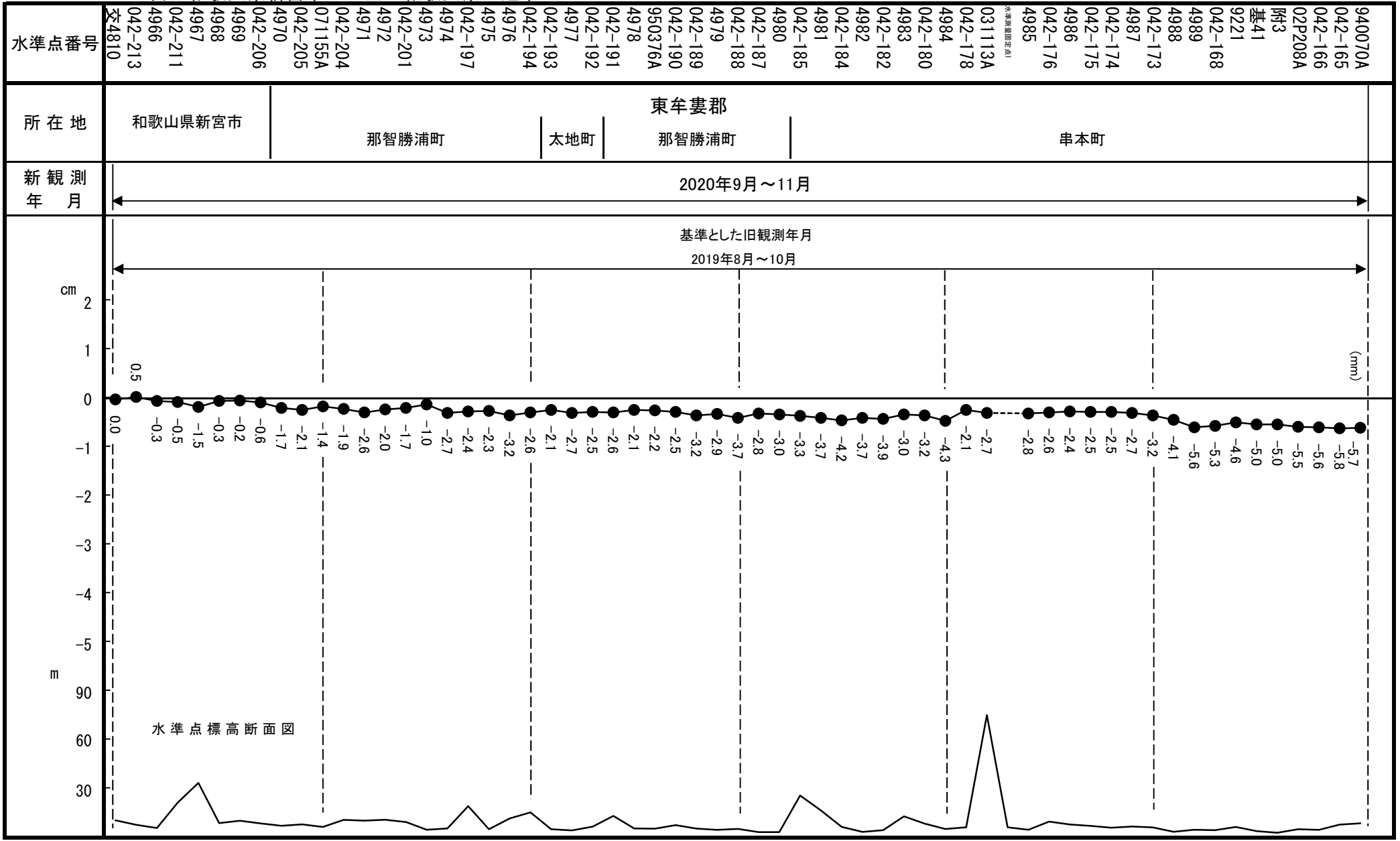
20-06-01 自 三重県度会郡大紀町 至 和歌山県新宮市



20-06-02

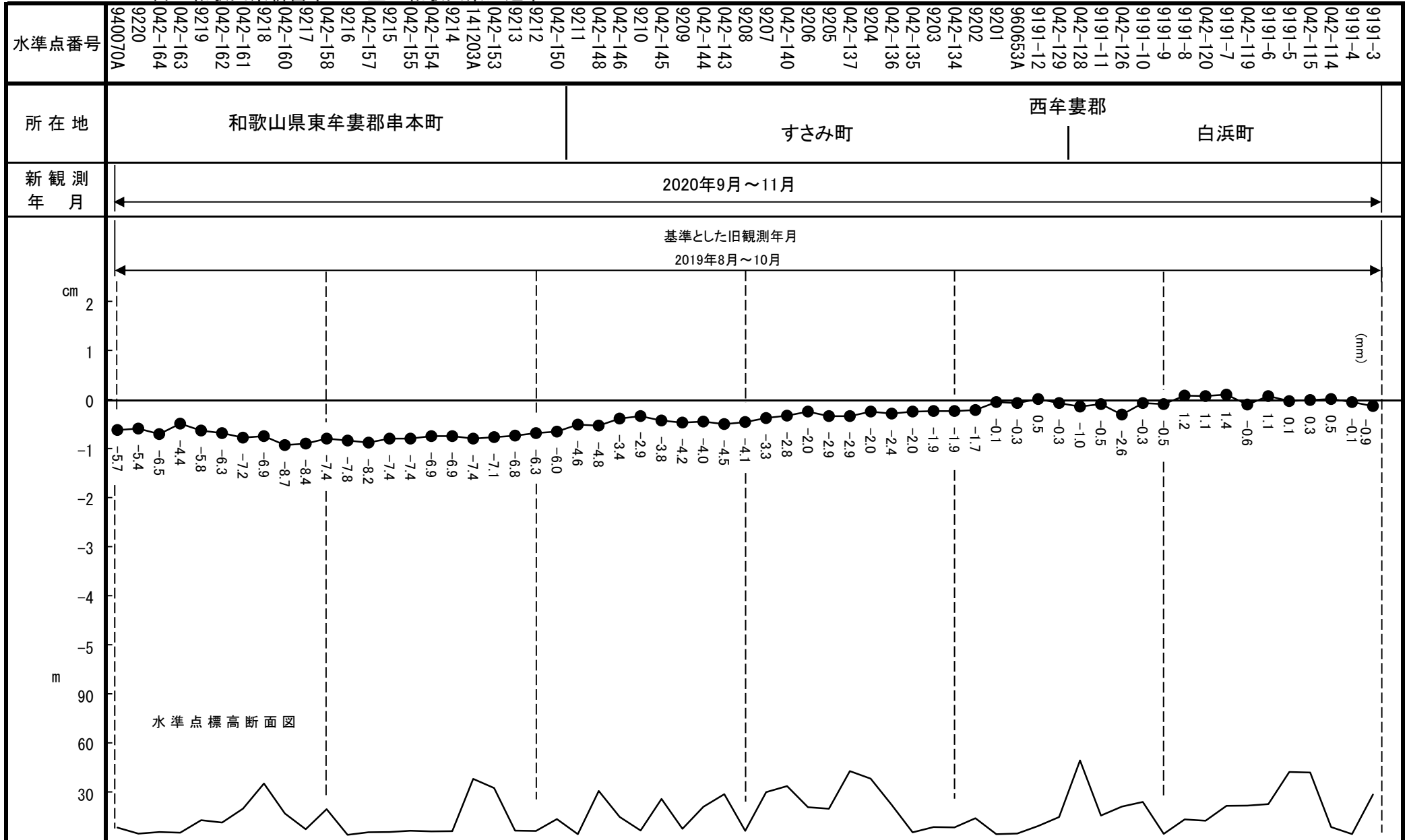
自 奈良県吉野郡十津川村 至 和歌山県新宮市





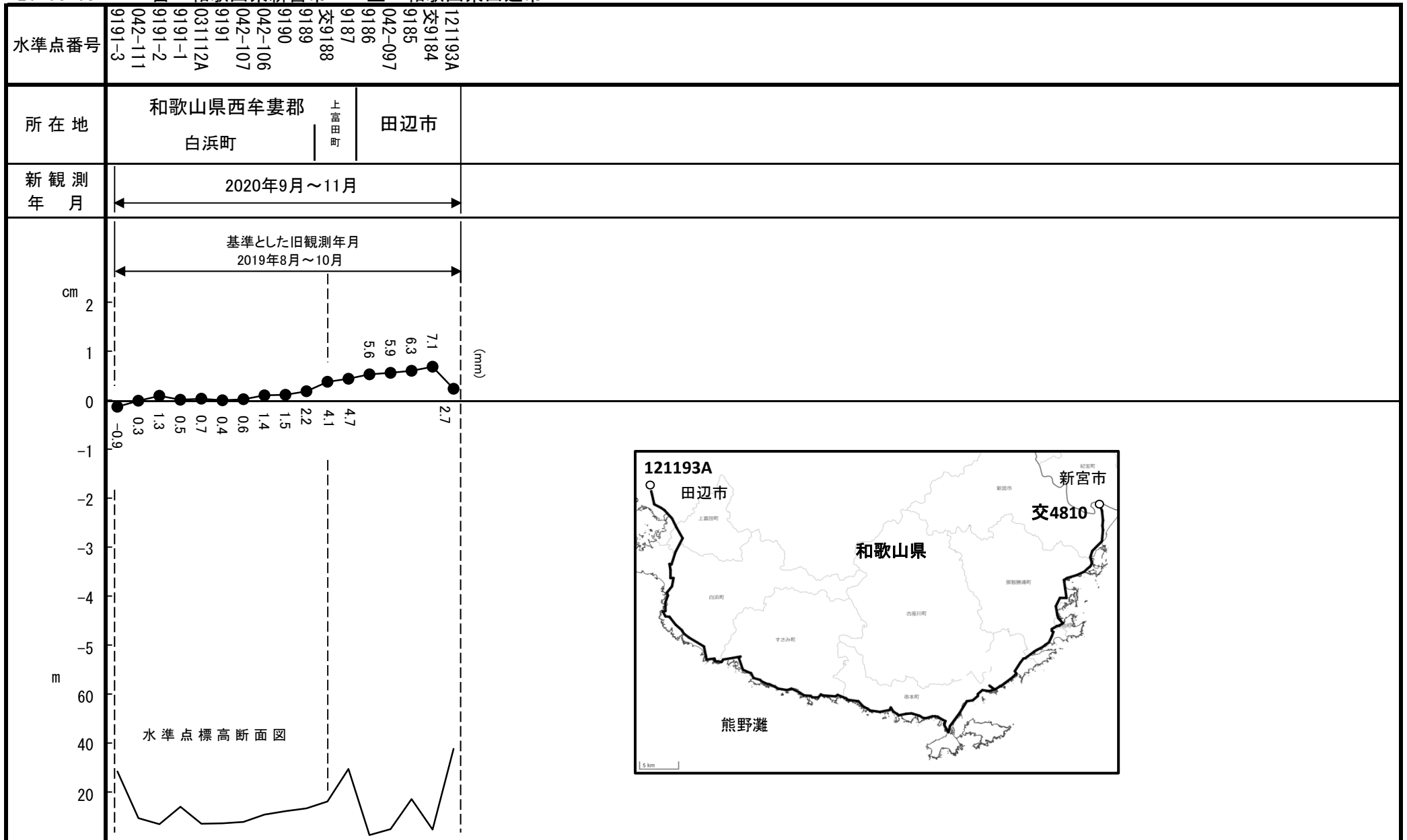
20-06-03

自 和歌山県新宮市 至 和歌山県田辺市



20-06-03

自 和歌山県新宮市 至 和歌山県田辺市



20-06-04

自 和歌山県西牟婁郡白浜町 至 和歌山県田辺市

水準点番号

9186
白浜検潮所付属水準点
白浜検潮所球分体

所在地

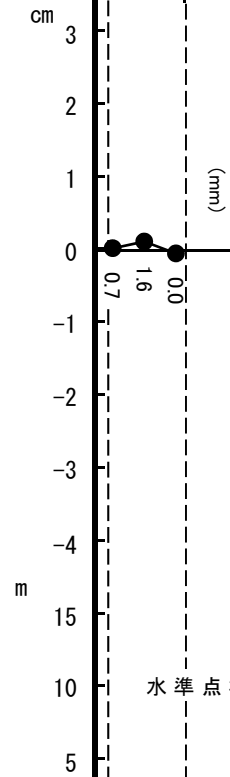
田辺市
和歌山県
西牟婁郡
白浜町

新観測
年月

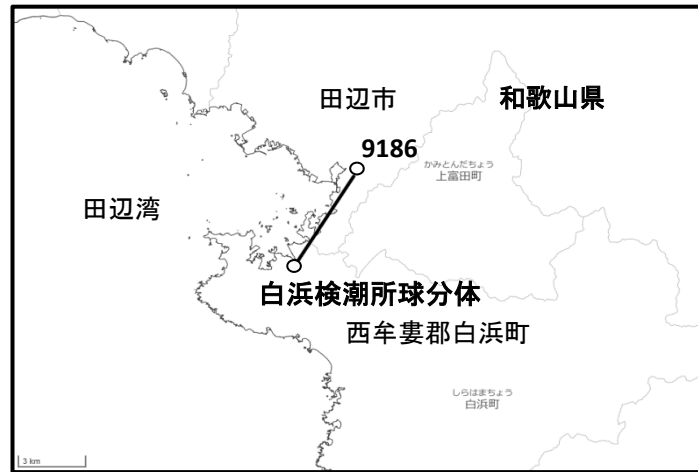
2020年9月

基準とした旧観測年月

2019年8月

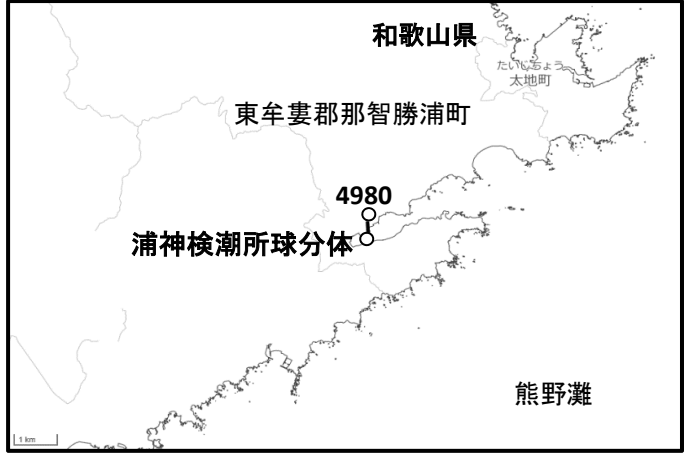


水準点標高断面図



20-06-05 自 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 至 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

水準点番号 <small>浦神検潮所球分体</small> <small>浦神検潮所付属水準点</small>	4980
所在地	和歌山県 東牟婁郡 那智勝浦町
新観測年月	2020年10月
水準点標高断面図 cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 m 15 10 5	基準とした旧観測年月 2019年10月 (mm) 0.0 -0.5 -1.0



20-06-06

自 和歌山県東牟婁郡串本町 至 和歌山県東牟婁郡串本町

水準点番号

附3
串本検潮所球分体

所在地

和歌山県
東牟婁郡
串本町

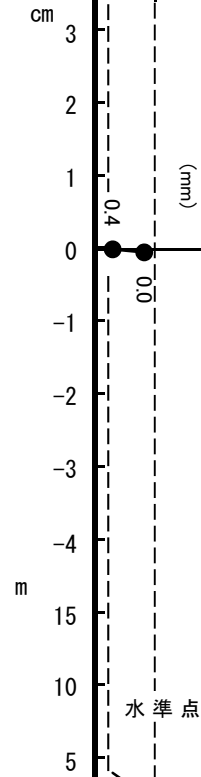
新観測
年月



2020年10月

基準とした旧観測年月

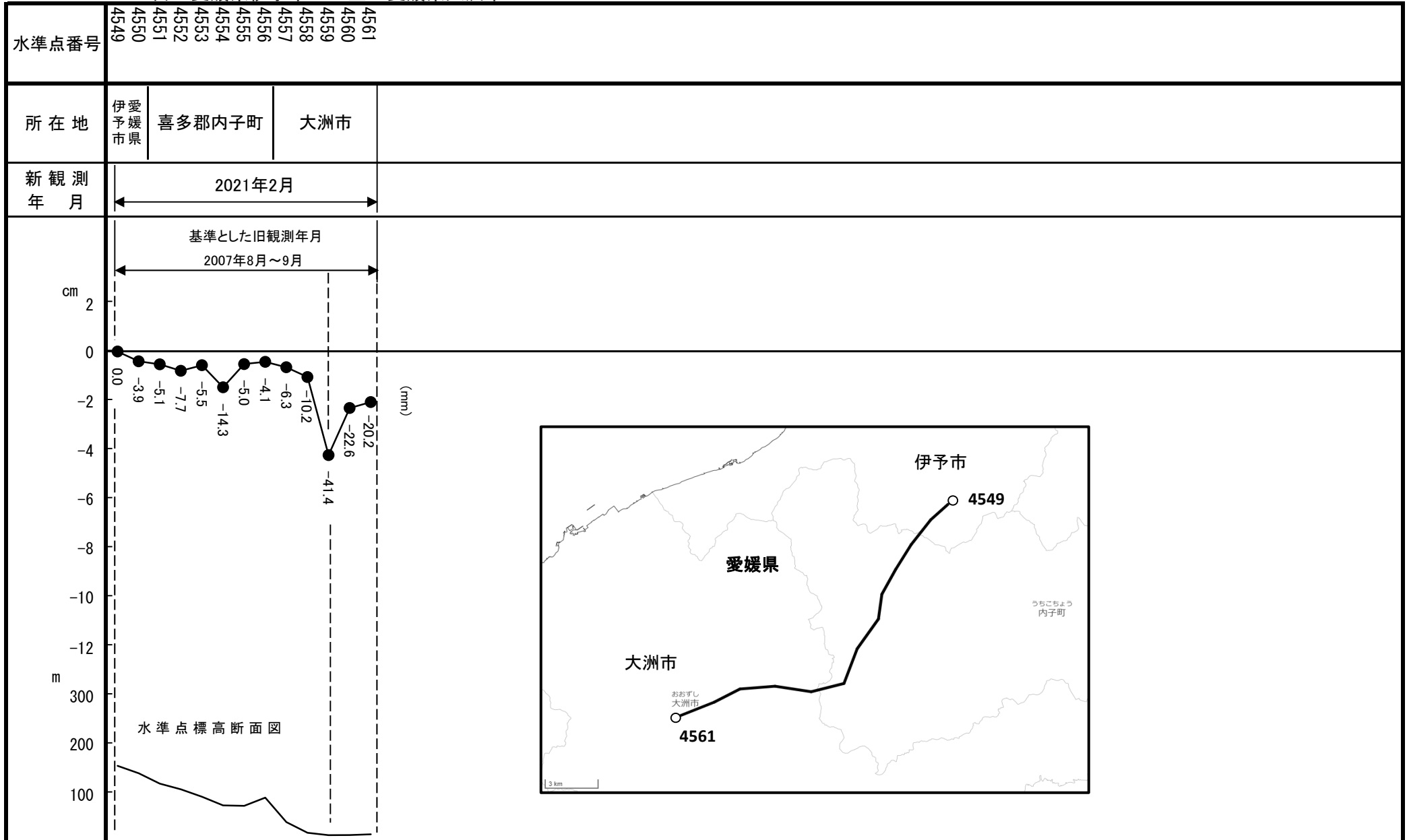
2019年10月



水準点標高断面図

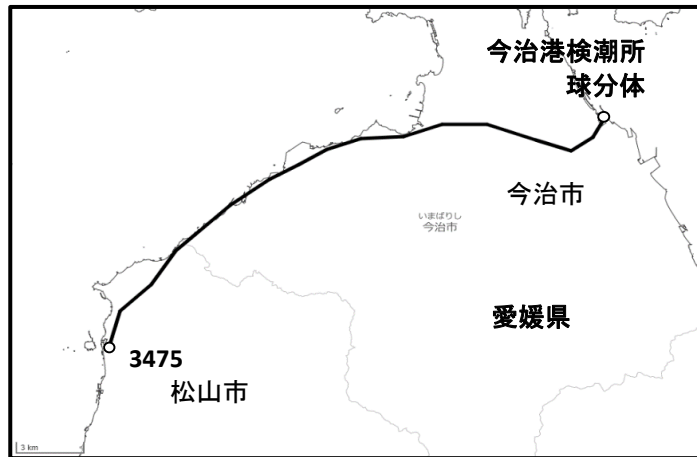
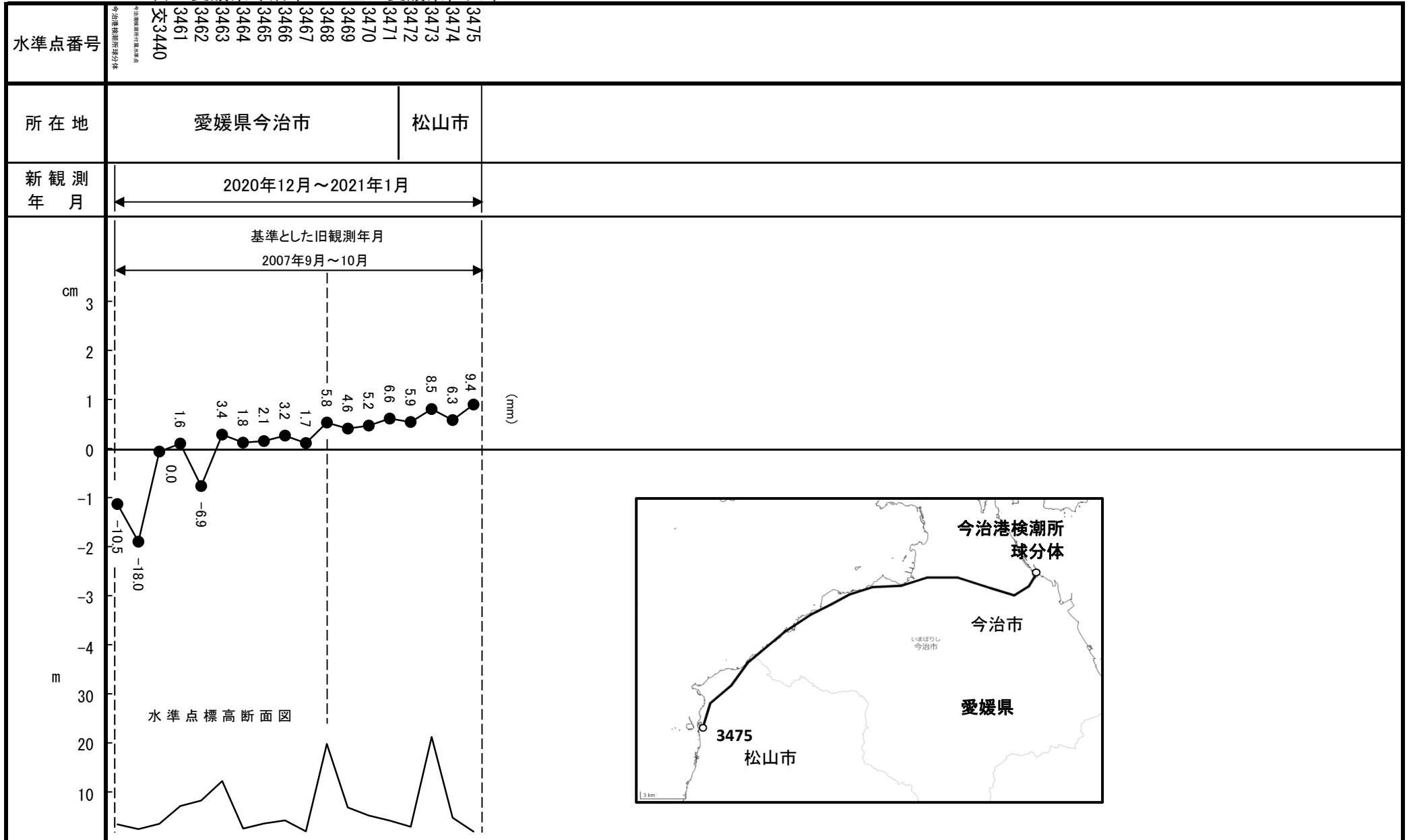


20-07-01 自 愛媛県伊予市 至 愛媛県大洲市



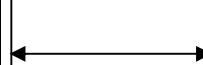
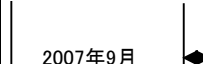
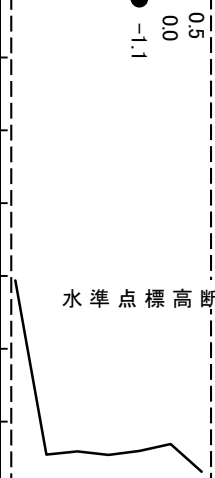

20-07-02

自 愛媛県今治市 至 愛媛県松山市

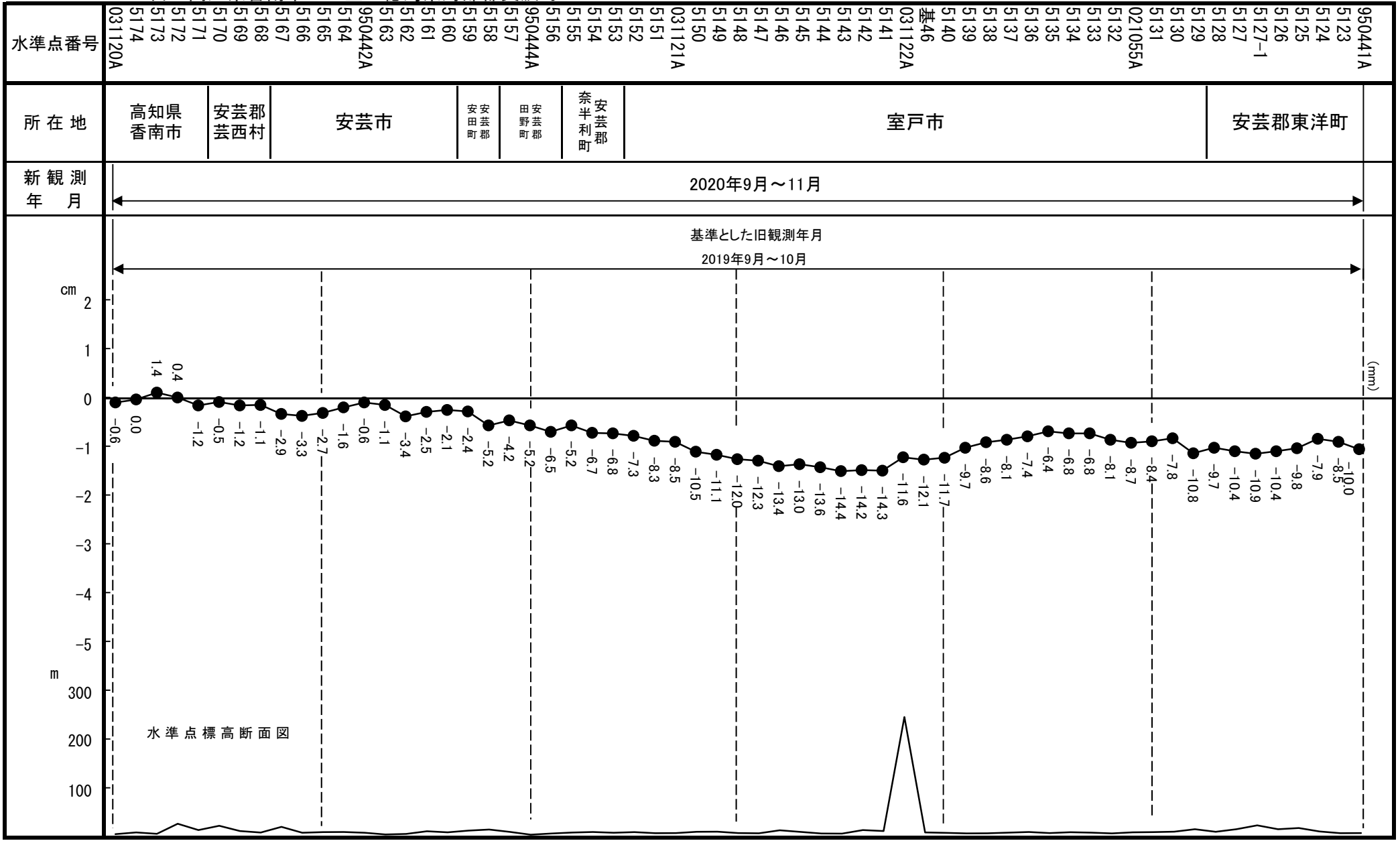


20-07-03

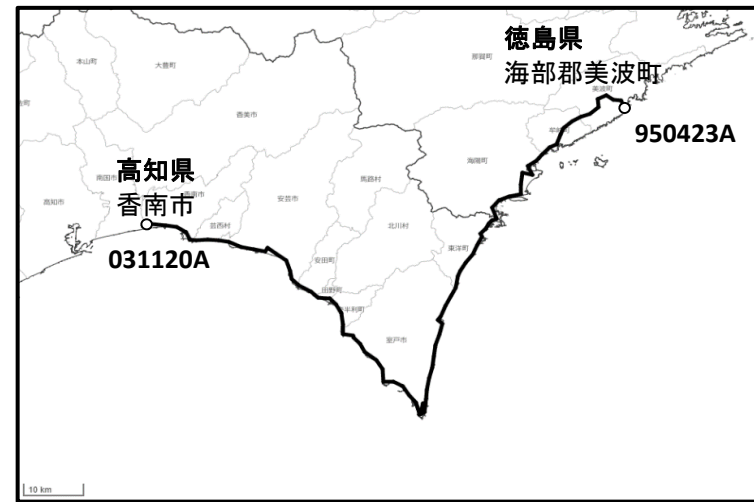
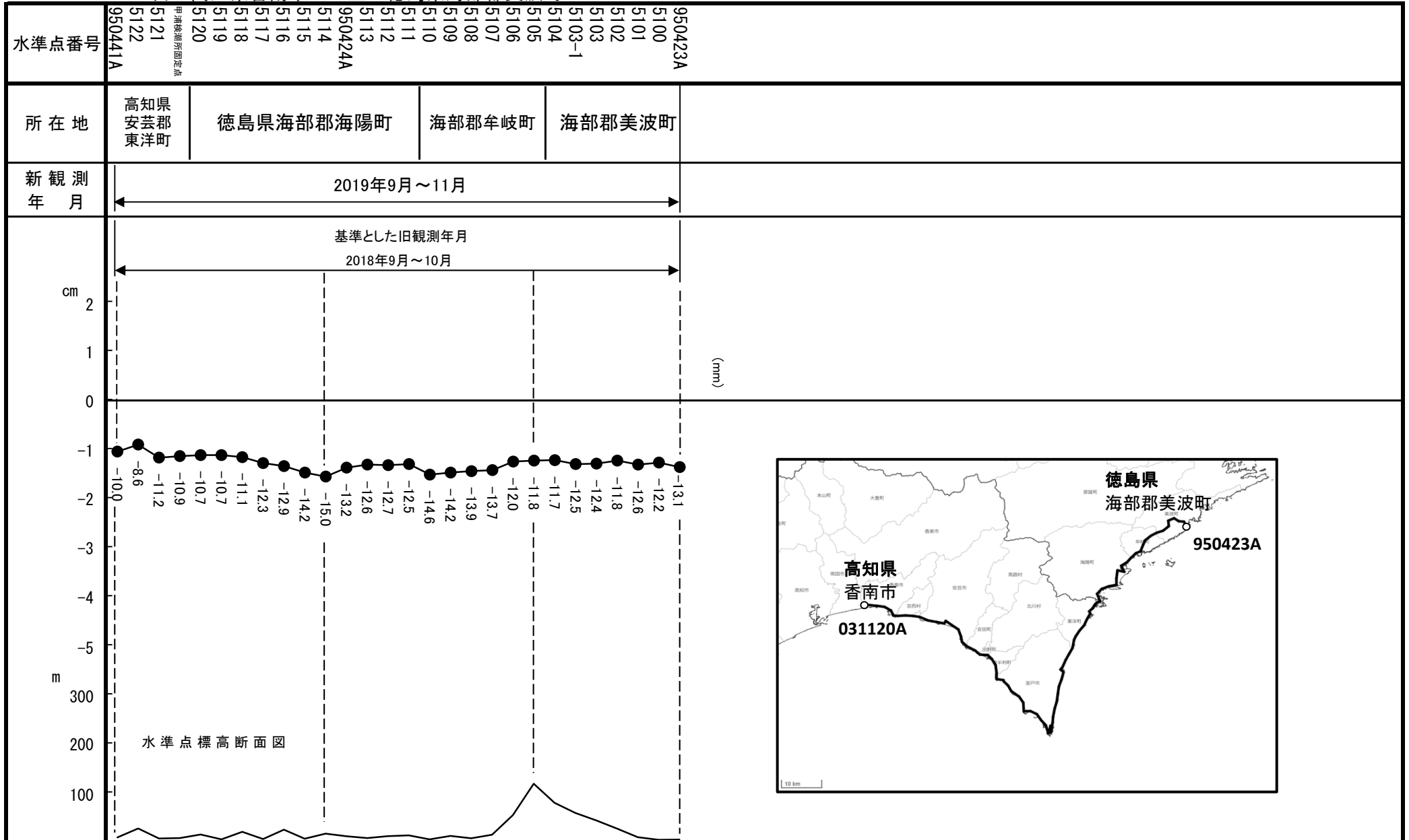
自 愛媛県今治市 至 愛媛県今治市

水準点番号	3441 交3440 3439 3438 3437 3436 3435
所在地	愛媛県今治市
新観測年月	2020年12月～2021年1月 
cm 4 3 2 1 0 -1 -2 -3	基準とした旧観測年月 2008年1月  (mm) 8.9 5.1 5.6 1.1 1.1 0.0 -1.1 0.5
m 15 10 5	水準点標高断面図  愛媛県 今治市  3441 3435 いまびし 今治市

20-07-04 自 高知県香南市 至 徳島県海部郡美波町

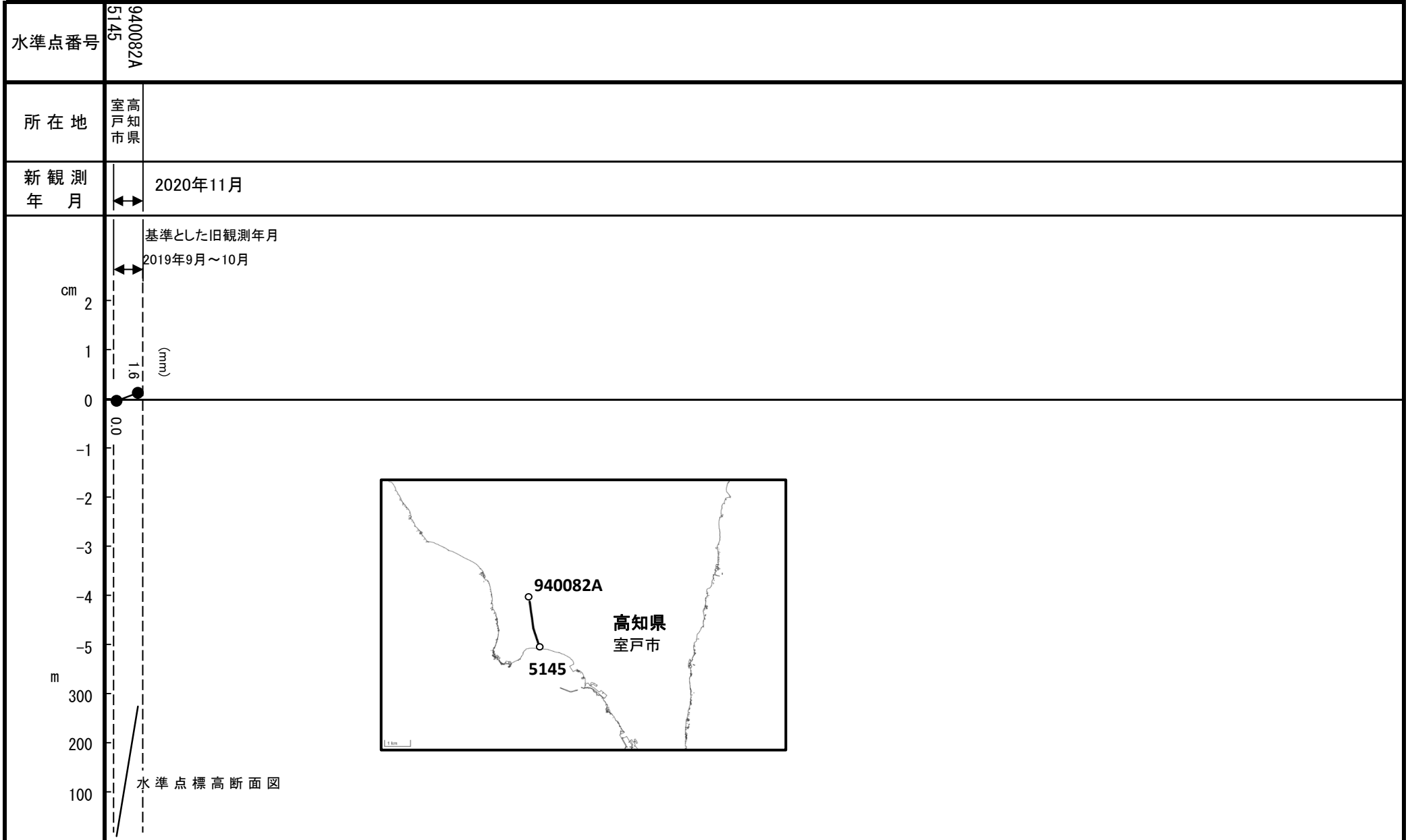


20-07-04 自 高知県香南市 至 徳島県海部郡美波町



20-07-05

自 高知県室戸市 至 高知県室戸市



20-07-06

自 高知県室戸市 至 高知県室戸市

水準点番号

5142
室戸岬検潮所
固定点
高知県
室戸市

所在地

室高
戸知
市県

新観測
年月

2020年11月

cm

3

2

1

0

-1

-2

-3

-4

m

15

10

5

基準とした旧観測年月

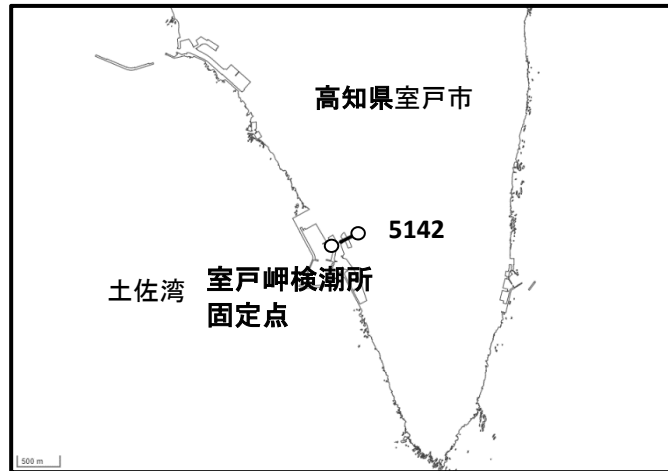
2019年10月

(mm)

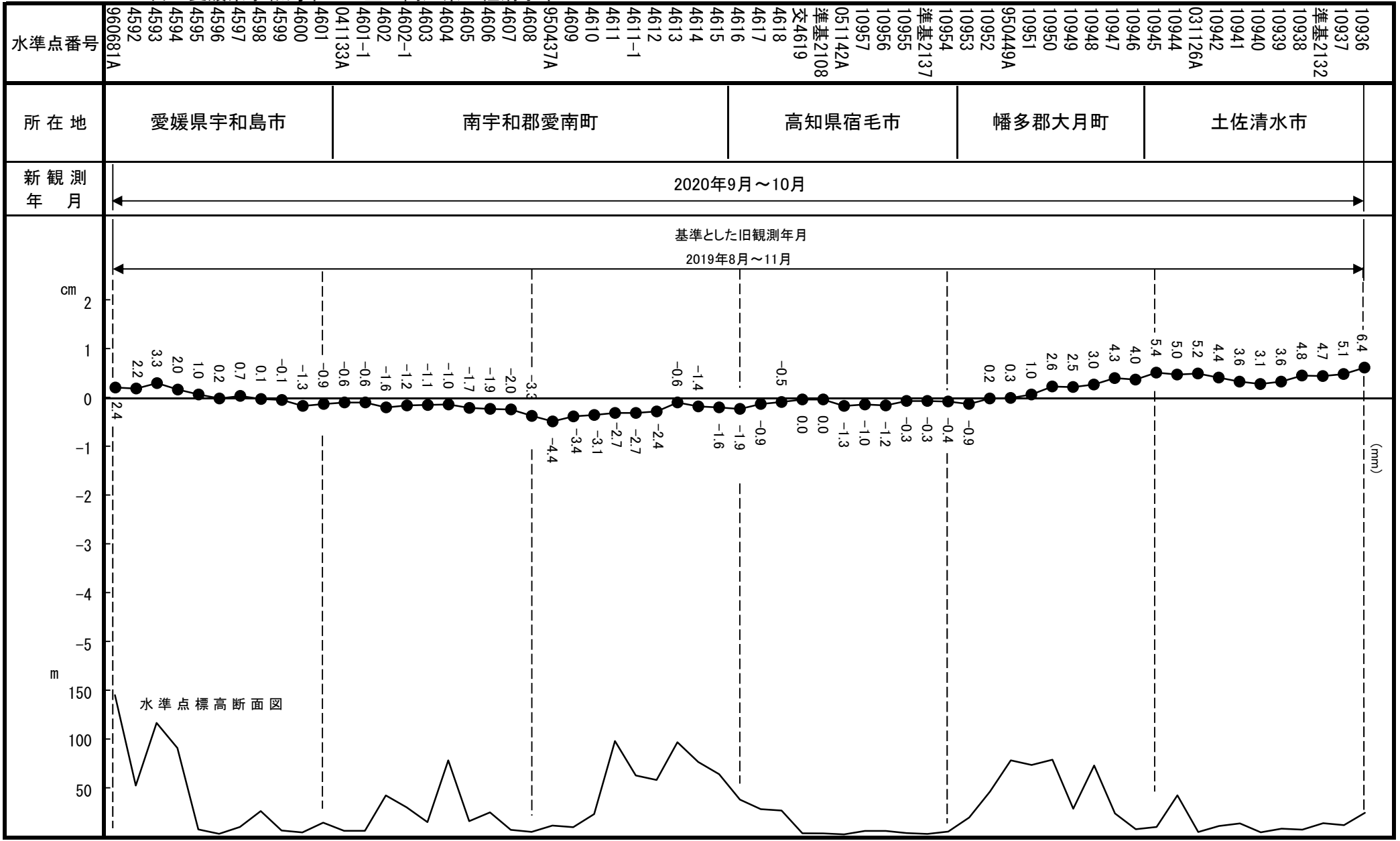
0.0

0.0

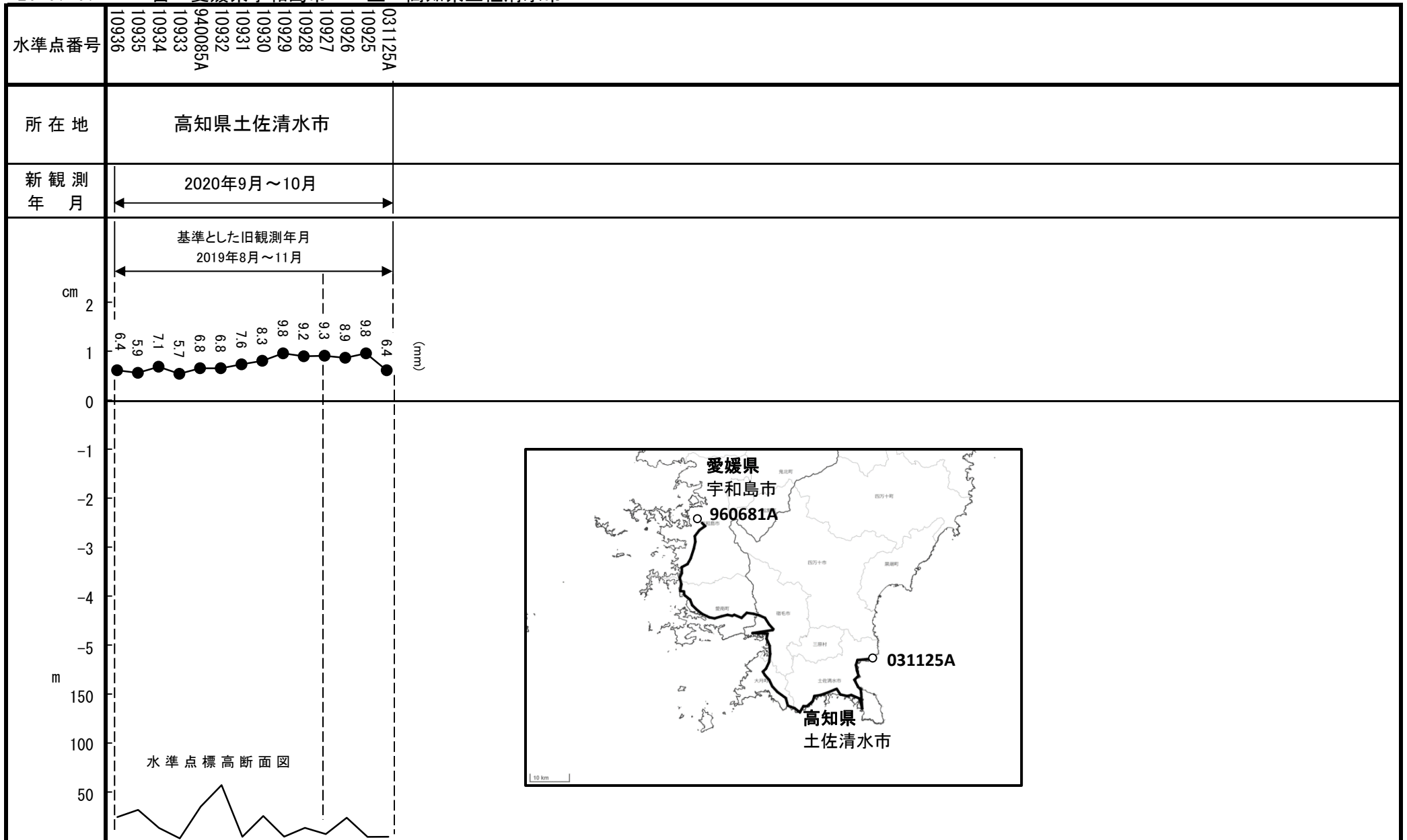
水準点標高断面図



20-07-07 自 愛媛県宇和島市 至 高知県土佐清水市



20-07-07 自 愛媛県宇和島市 至 高知県土佐清水市



20-07-08

自 愛媛県南宇和郡愛南町 至 愛媛県南宇和郡愛南町

水準点番号

4608
御荘港検潮所
球分体

所在地

愛媛県
南宇和郡
愛南町

新観測
年月



2020年9月

基準とした旧観測年月



2019年10月

cm

3

2

1

0

-1

-2

-3

-4

m

15

10

5

(mm)

水準点標高断面図



20-07-09

自 高知県土佐清水市 至 高知県土佐清水市

水準点番号

10933
土佐清水検潮所球分体

所在地

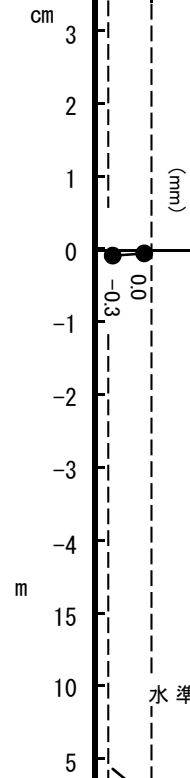
高知県
土佐清水市

新観測
年月

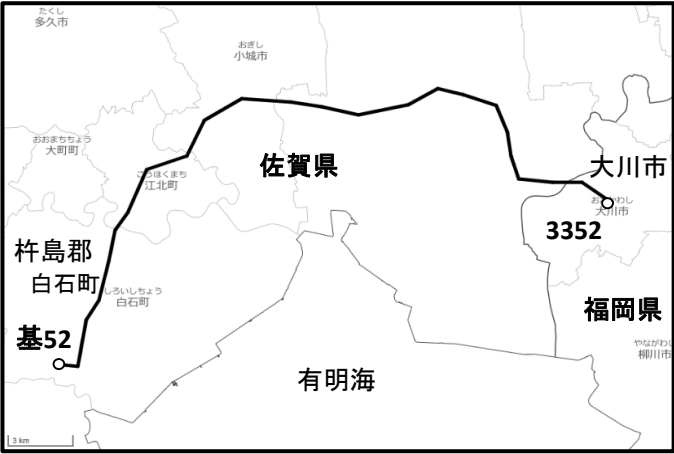
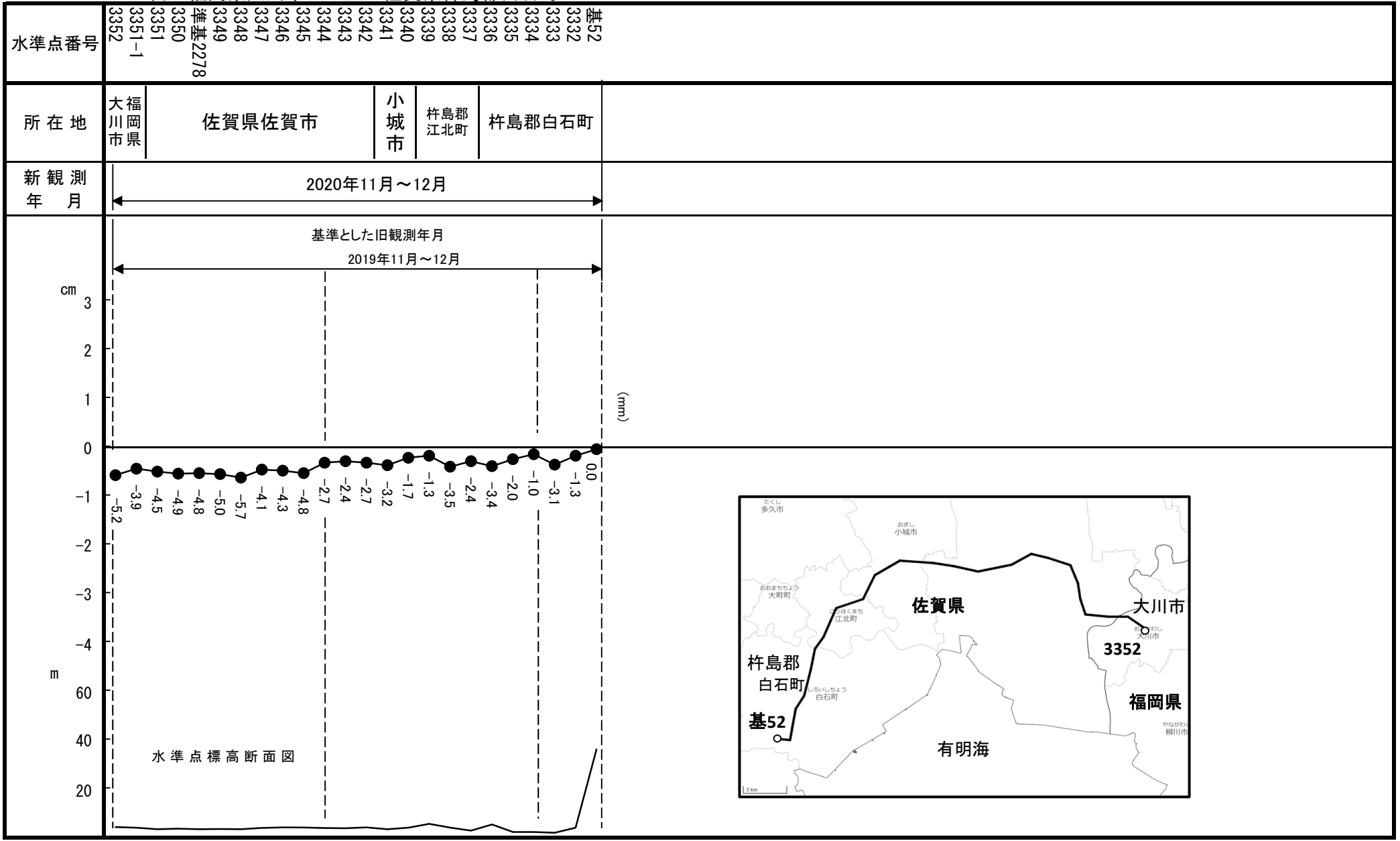
2020年9月

基準とした旧観測年月

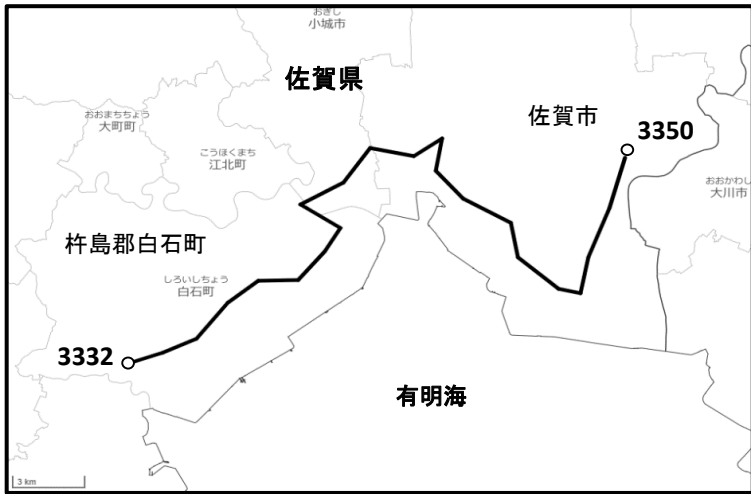
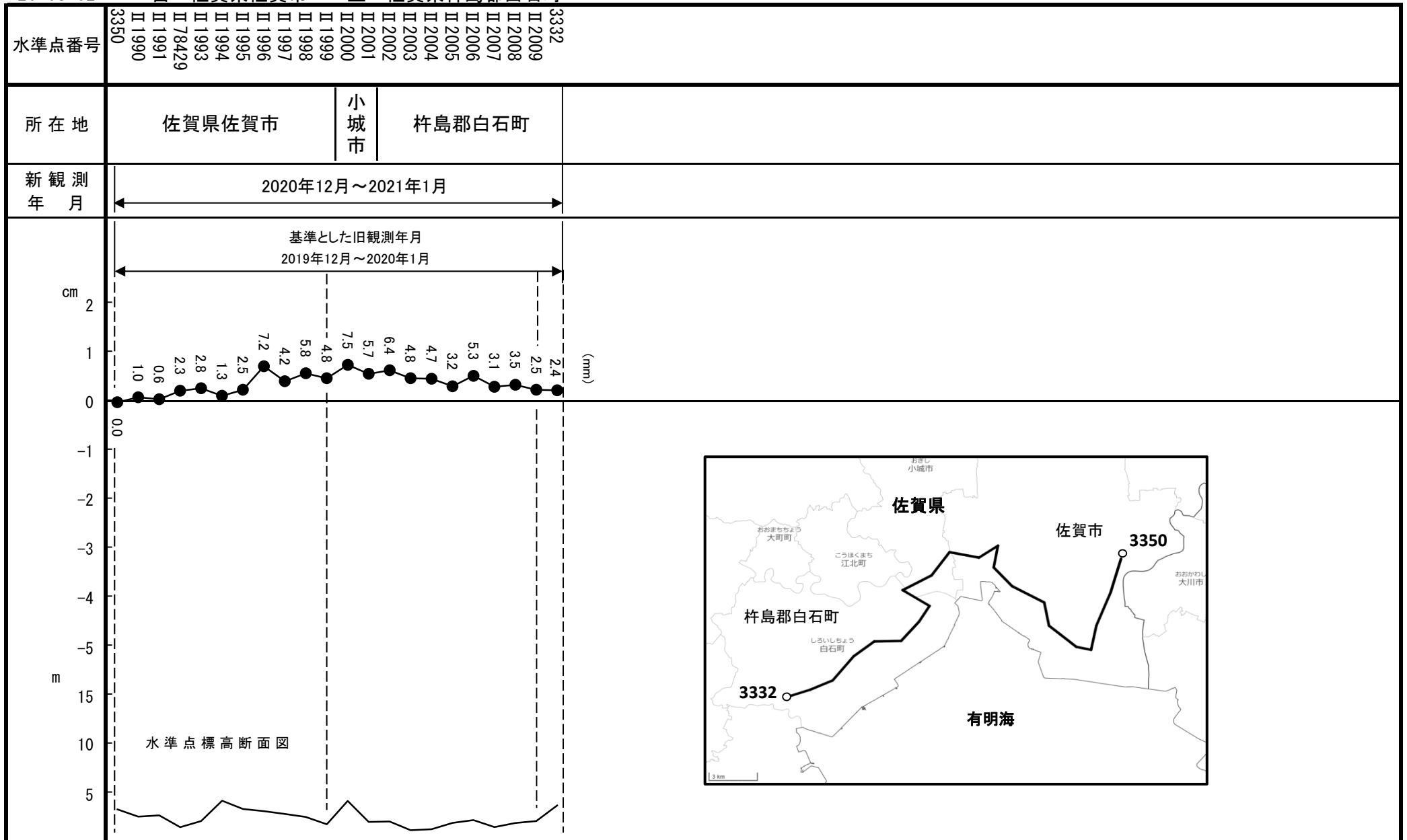
2019年10月



20-08-01 自 福岡県大川市 至 佐賀県杵島郡白石町



20-08-02 自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県杵島郡白石町



20-08-03

自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県小城市

水準点番号

3342
II 2000

所在地

佐賀県佐賀市
小城市

新観測
年月

2021年1月

基準とした旧観測年月

2019年12月

cm

2

1

0

-1

-2

-3

-4

-5

m

15

10

5

(mm)

0.9

0.0

水準点標高断面図

